印刷前にご確認ください

SMART Board™ X800i5 インタラクティブ ホワイトボードシステム

設定およびユーザーズマニュアル

驚くほど簡単に | SMART™

商標表示

SMARTBoard、DViT、smarttech、SMARTロゴとすべてのSMARTキャッチフレーズは、SMARTTechnologiesULCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Texas Instruments、Brilliant Color、DLP、DLP Linkは、Texas Instrumentsの商標です。HDMIは、HDMILicensingLLCの商標または登録商標です。Phillipsは、PhillipsScrewCompanyの登録商標です。Microsoft、Windows、Internet Explorerは、米国およびその他の国のMicrosoft 社の登録商標または商標です。Blu-rayは、Blu-ray Disc Associationの商標です。

特許番号：

US5448263; US6141000; US6337681; US6421042; US6540366; US6563491; US6674424; US6747636; US6760009; US6803906; US6829372; US6919880; US6954197; US7184030; US7236162; US7289113; US7342574; US7379622; US7411575; US7532206; US7619617; US7626577; US7643006; US7692625; CA2058219; CA2386094; EP1297488; EP1739528; JP4033582; JP4052498; JP4057200; ZL0181236.0; DE60124549。その他特許申請中。

FCC の警告事項

この機器は、検査を行い、Part 15 of FCC 規則 Part 15 で定められた Class A デジタル機器の規制に準拠することが確かめられています。FCC 規則 Part 15 で定められた Class A デジタル機器の規制に準拠することが確かめられています。これらの規制は、製品を商用環境で使用する場合の有害な混信に対し妥当な保護機能を提供することを目的としています。この装置は、無線周波数を生成・使用・放射するもので、指定の方法に従わずに設置・使用すると、無線通信に関し有害な混信を引き起こす場合があります。この装置を住宅地で使用する場合、有害な混信を引き起こすことがあります。そのような場合、混信を防止するため、ユーザー様ご負担による改修等の対策が必要になります。

著作権表示

12/2010

注意事項

SMART Board™ X800i5インタラクティブホワイトボードシステムを設置および使用する前に、本ユーザーズマニュアルおよび付属の警告文書に記載された安全上の警告と注意事項を読み、理解してください。安全上の警告と注意事項では、インタラクティブホワイトボードシステムおよびアクセサリの安全かつ正しい操作について説明します。作業者のケガや製品の損傷の防止にお役立てください。常に、インタラクティブホワイトボードシステムが適正に使用されていることを確認してください。

この文書において、「SMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステム」は、SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボードおよびそのSMART UF75/UF75wプロジェクター、アクセサリおよびオプション装置を示します。

システムに付属のSMART UF75/UF75wプロジェクターは、一部のSMART Boardインタラクティブホワイトボード機種とだけ動作するように設計されています。詳細については、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)にお問合せください。

安全警告、注意事項、重要な情報

警告

- SMART製品に付属の設置指示書に従わない場合、作業者のケガや製品の損傷につながることがあります。
- 火事や感電の恐れがありますので、SMART製品は雨にさらしたり湿気のあるところに置かないでください。
- SMART製品の取り付け作業は、重すぎて1人では安全を確保できないため2人で実施してください。

  インタラクティブホワイトボードを持ち上げるときには、2人がスクリーンの両側に立ち、片方の手を下側にして重量を支え、もう片方では上側のバランスを取ります。
- プロジェクターブームを壁面のフレームまたはくぼみに取り付ける場合には、必ず取付用ブラケットに取り付けた上で、安全ロープを止め金具と結び、プロジェクターの重量を確実に支えられるようにしてください。乾式壁アンカーだけを使用した場合、石壁が剥がれ落ち、製品の破損や損傷事故につながります。

- 電源や接続用のケーブルは、床に放置しておくと、足に引っ掛けるなど思わぬ事故、損傷や故障の原因になりますので、配置には十分にご注意ください。床にケーブルを配線する場合は、ケーブルを平らにたるまないように置き、目立つ色のテープまたはケーブルストリップでケーブルを床に固定してください。ケーブルは注意深く取り扱い、引っぱったり、曲げすぎないようにしてください。
- RS-232シリアル拡張モジュール、ワイヤレスBluetooth®接続用拡張モジュール、USBオーディオシステムを使用している場合には、その製品用の電源以外を使用しないでください。また、これらの製品に同一の電源を使用してはいけません。間違った電源を使用すると、安全上の問題や機器の損傷等が発生する場合があります。ご不明な点については、製品仕様書を参照の上、電源の種類を確認してください。
- 壁面またはスタンドに取り付けたSMART Boardインタラクティブホワイトボードには、体重をかけないようにしてください(子供がよじ登るなど)。

  プロジェクターブームには、よじ登ったり、ぶらさがったり、あるいは物をつり下げたりしないようにしてください。

  インタラクティブ・ホワイトボードまたはプロジェクター・ブームに体重をかけると、思わぬけがや製品の破損につながることがあります。
- ペントレイの内部には、ユーザーが修理可能な部品は含まれていません。ペントレイのプリント基板は、認定技術者以外が分解することを禁止しています。また、この手順には適切な静電気放電(ESD)対策が施された装備が必要になります。
- プロジェクターで3Dコンテンツを視聴することによって、てんかんまたは何らかの発作を起こすことがあります。視聴する方ご自身またはそのご家族に光過敏性発作の病歴がある場合には、3Dコンテンツ視聴前に医師にご相談ください。
- 飲酒しながら、あるいは飲酒後の3Dコンテンツの視聴は、睡眠不足や健康に害が及ぶ可能性があるため危険です。
- 妊婦やお年寄りは、3Dコンテンツを視聴しないでください。
- 3Dコンテンツの視聴は、吐き気、めまい、頭痛、疲れ目、かすみ目、無感覚などの症状や病気につながることがあります。そのような兆候がみられる、あるいは感じた場合には、直ちに3Dコンテンツの視聴をやめてください。そのような症状が解消されない場合には、医師の診察を受けてください。
- 子供や10代の若者は大人よりも敏感なため健康への影響が多大であり、親および教師は、子供や生徒を注意して観察する必要があります。

- インタラクティブホワイトボードシステムで3Dコンテンツを視聴したことで生じる可能性のある悪影響を防止するために、以下の警告を守ってください。
  - 3D眼鏡では、3Dコンテンツ以外の素材を見ないでください。
  - インタラクティブホワイトボードシステムの画面から最低2m (7')離れるようにしてください。至近距離からの3Dコンテンツを視聴した場合、目が疲労します。
  - 長時間3Dコンテンツを視聴しないようにしてください。視聴1時間ごとに15分間以上の休憩をとってください。
  - 3Dコンテンツの視聴では、画面を正面から見てください。3Dコンテンツを斜めから視聴した場合、疲労または疲れ目の原因になります。

注意

- 本ユニットは、寒い場所から暖かい場所に移動した直後には操作しないでください。ユニットは大きな温度変化にさらされると、レンズや重要な内部部品が凝結することがあります。ユニットに想定される損傷を防ぐために、操作前にはシステムを室温で安定させるようにしてください。
- 暖房設備の付近など、高温の場所にはユニットを配置しないでください。これらの注意を守らない場合、プロジェクターの寿命が短くなります。
- 過度にほこりや湿気の多い場所、または煙が充満した場所ではSMART製品を使用しないでください。
- 直射日光のあたる場所、あるいは、強い磁界が生成される機器の付近には、SMART製品を配置しないでください。
- 取り付け前にインタラクティブホワイトボードを壁に立てかける必要がある場合には、必ず、ペントレイブラケットに載せてまっすぐに立った状態を維持してください。こうすることでインタラクティブホワイトボードの重量を支えることができるようになっています。

  インタラクティブホワイトボードは、フレームの側面や上面を下にして置いてはいけません。
- 必ず、SMART Boardインタラクティブホワイトボードに付属のUSBケーブルを使用し、USBロゴマークのあるコンピューターのUSBインターフェースに接続してください。さらに、USB コンピュータはCSA/UL/EN 60950 に準拠しており、CE マークとCSA/UL 60950 用のCSA/UL マークが付いていなければなりません。こうした規定は、安全な操作と、SMART Boardインタラクティブホワイトボードへの損傷を防ぐためのものです。
- プロジェクターの換気口や開口部をふさがないでください。

- ランプの故障につながるため、ランプ点灯段階にプロジェクターをスタンバイモードにしないようにしてください。ランプ寿命を長く保つために、プロジェクターランプをオンにしてから15分間以上経ってから、スタンバイモードにするようにしてください。
- 標高6000' (1800 m)を超える高地では、大気が薄く、冷却効率が低下するため、ファンモードを高に設定してプロジェクターを使用してください。
- プロジェクター電源のオン / オフを繰り返すと、SMART製品が停止したり破損することがあります。製品をスタンバイモードにした場合、再始動前に最低15分間程度の間隔を空けて冷却するのを待ってください。
- 以下の手順に記載のないサービスメニューの設定については調節しないでください。この注意を守らなかった場合、プロジェクターが操作できなくなる、あるいは、悪影響を及ぼす場合があり、保証対象外となります。
- ほこりや小さな物などが原因でペントレイボタンが押せなくなったり、継続的にボタンの接触エラーが生じるような場合には、注意して異物を取り除いてください。
- SMART UF75/UF75wプロジェクターを清掃する前に、ECPまたはリモートコントロールの**電源**⏻ボタンを2回押してシステムをスタンバイモードに入れてから、ランプを30分間冷やします。
- クリーナー、洗剤、圧縮空気は、ユニットが破損したり、汚れるため、プロジェクターの部品の付近にスプレーしないでください。システムにスプレーすることにより、プロジェクターやランプの構成部品に霧状の薬品が広がって、画像品質を損なったり劣化する場合があります。
- いかなる種類の液体も業務用洗剤も、プロジェクターに流れ込まないようにしてください。
- SMART製品を輸送する場合には、できるだけ納入時と同様にインタラクティブホワイトボードを梱包してください。納入時に使用される梱包材は、衝撃と振動を最適に保護するよう設計されています。
- SMART製品に部品の交換が必要な場合は、サービス技術者がSMART Technologiesの指定する交換部品、または元の部品と同等の特性を持つ部品を使用することを確認してください。

重要

- ECPに付属の指示書に従って、インタラクティブホワイトボード、プロジェクター、ECPをインストールしてください。SMART Boardインタラクティブホワイトボードの箱に入っている指示書には、SMART UF75/UF75wプロジェクターまたはECPの設置に関する指示書が含まれていません。
- SMART製品の近くに電源用のコンセントがあり、使用中に手が簡単に届くことを確認してください。
- テレビやラジオの付近でSMART製品を使用した場合、画像や音に干渉を起こす恐れがあります。そのような場合には、テレビやラジオをプロジェクターから離れた場所に移動してください。

- 4ピンミニDINコネクタ、または、RCAコンポジット ビデオジャックを使用しない周辺デバイスを使用する場合、あるいは、デバイスがRCAジャックを使用せずにオーディオ接続している場合には、サードパーティーのアダプターを購入する必要があります。
- ECP上にはプロジェクターメニューオプションはありません。ECPはリモートコントロールの代替えの役割を持たないため、安全な場所にリモートコントロールを保管してください。
- インタラクティブホワイトボードまたはホストコンピューター用のコントロールが外れるため、周辺デバイスをECPに接続しているケーブルは外さないでください。
- SMART製品は、クリーニングの前にスタンバイモードに入れてください。
- 以下のガイドラインに従って、プロジェクターを清掃します。
  - 糸くずの出ない布でプロジェクターの外側を拭きます。
  - 必要に応じて、柔らかな布に刺激の少ない洗剤を含ませてプロジェクターハウジングを清掃します。
  - 研磨剤、ワックス、洗剤を含むクリーナーは使用しないでください。
  - レンズには触れないでください。レンズを拭く必要がある場合には
    - 液体洗剤または業務用洗剤(ガラスクリーナーなど)を使用して、レンズを拭きます。ただし、システムに直接スプレーしないでください。
    - 保護手袋を着用し、糸くずの出ない布(Purestat PW2004など)に帯電防止液(Hyperclean EE-6310など)を含ませてください。
    - 静かに、中心から端に向かってレンズを拭きます。
- 長期間使用しない場合には、製品を電源から外してください。

環境条件

SMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムを設置する前に、以下の環境条件をご確認ください。

環境条件	パラメータ
操作温度	• 5°C ～ 35.00℃ (41°F ～ 35℃)標高1800 m ～ 0 m (6000' ～ 9800') • 5°C ～ 30℃ (41°F ～ 86°F)標高1800 m ～ 3000 m (6000' ～ 9800')
保管温度	• -40.00℃ ～ 50.00℃(-40℃ ～ 50℃)
湿度	• 30% ～ 80% 相対湿度、結露のない場所でご使用ください
耐水性および液体抵抗	• 必ず屋内でご使用ください。塩水の噴霧や水の浸入などが想定される環境での使用は不適当です。 • インタラクティブホワイトボード、SMART UF75/UF75wプロジェクター、サブコンポーネントには液体をかけたり、噴き付けないでください。
ほこり	• 事務所や教室などの環境での使用を想定しています。工業用途については、ほこりや汚染物質が非常に多く、機能不全や操作能力の低下を招くことが想定されるため適していません。ほこりの多い場所では、定期的なクリーニングが必要です。SMART UF75/UF75wプロジェクターのクリーニングについては、*プロジェクターのクリーニングページ35*をご参照ください。 • 使用環境については、EN61558-1により規定されている汚染度1 (P1) 「汚染なし、あるいは、乾燥した非導電性の汚染に限る」に基づき設計されています。
静電気放電(ESD)	• 直接および間接ESDに対するEN61000-4-2重大度 • 330Ω、150 pFプローブ(空中放電)による最大8kV(両極)まで機能不全なし、あるいは、ダメージなし • 未接続コネクタは、直接(接触)放電による最大4kV(両極)まで機能不全なし、あるいは、ダメージなし
ケーブル	• すべてのSMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムケーブルは、事故やビデオおよびオーディオ品質の劣化を防止するためにシールドタイプをご使用ください。
伝導性雑音および放射性雑音	• EN55022/CISPR 22、クラスA

目次

章 1

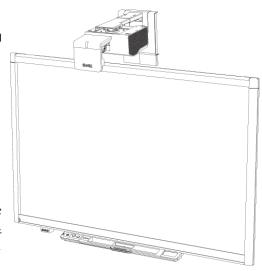
ご使用中の機種について インタラクティブホワイトボードシステム

ご使用中のSMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムは、壁面取付けの短焦点SMART UF75/UF75wプロジェクターとSMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボードが組み込まれています。

本章では、SMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムの機能、そして、製品パーツとアクセサリ情報について説明します。

SMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステム特徴

SMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムは、短焦点ハイオフセットSMART UF75/UF75wプロジェクターを使用しています。SMART UF75/UF75wプロジェクターは、投影距離が旧機種の半分になった結果、ブームが短くなり、投影画像の影が減少しました。

本SMART UF75/UF75wプロジェクターでは、パソコンの画像をタッチ操作が可能なインタラクティブホワイトボードに表示して、スクリーンにタッチするだけで、アプリケーションの起動や終了、ファイルのスクロール、会議、新規文書の作成、既存文書の編集、ウェブサイトの閲覧、ビデオクリップの再生など、パソコンで可能なことをすべて実行できます。さらに、2人のユーザーが同時にインタラクティブスクリーンに描画を作成したり、アプリケーション内でいくつものジェスチャーを使用することもできます。

また、本プロジェクターは、DVD/Blu-ray™プレーヤー、VCR、Document Camera、デジタルカメラなどのさまざまなデバイスのビデオおよびオーディオ接続に対応しており、そのソースからメディアをインタラクティブスクリーンに映し出すことができます。

SMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムのSMARTソフトウェアでは、ペントレイペンまたは指を使用してコンピュータからの投影画像にデジタルインクで書き込みをしたり、描画を作成し、そのメモを.notebookファイルとして、あるいは、直接Ink Awareアプリケーションに保存することができます。

SMART Board X800シリーズインタラクティブホワイトボード

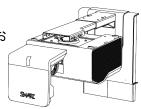
SMART Board X800シリーズインタラクティブホワイトボードの特徴は、SMART独自のDViT™(デジタルビジョンタッチ)テクノロジーであり、世界一直感的なタッチ操作式の前面投影型インタラクティブホワイトボードです。

インタラクティブホワイトボードのその他の機能とは

- モジュラー式ペントレイ：ペントレイペンまたはイレーサーを選んだことを自動検知
- ペントレイボタン：ペンのカラーとスクリーンキーボード、右クリック、構成、ヘルプの機能を起動
- 堅固な塗装のボード表面：投影に最適かつ簡単に清掃可能
- セキュリティケーブルロック機能：インタラクティブホワイトボードを動かなくすることで盗難を防止

SMART Boardインタラクティブホワイトボードに関する情報については、*SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボード ユーザーズマニュアル* (smarttech.com/kb/144817)をご参照ください。

SMART UF75/UF75wプロジェクター

SMART UF75/UF75wプロジェクターシステムには、SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボードと共に使用するための短焦点プロジェクター、および、さまざまな環境に適した堅固なサポートシステムが含まれています。

プロジェクターシステムの機能とは

- 壁面設置のハイオフセットプロジェクターエンジンには、Texas Instruments™のDLP®テクノロジーを採用。モード(SMARTプレゼンテーション、明るい部屋、暗い部屋、sRGB、ユーザー) を使用して、Brilliant Color™の性能とGamma 2.2調整を実現
- PAL、PAL-N、PAL-M、SECAM、NTSC、NTSC 4.43ビデオシステム互換性
- HDMI™、コンポジット、Sビデオ、VESA RGB、正規品アダプター(製品には含まれていません)を使用してコンポーネントYPbPrおよびコンポーネントYCbCr入力用に追加インターフェースをサポート
- WXGA、QVGA、VGA、SVGA、XGA、SXGA、SXGA+、UXGAビデオシステム互換性
- ネイティブ1024 × 768解像度(SMARTUF75プロジェクター)

  あるいは

  ネイティブ1280 × 800解像度(SMARTUF75wプロジェクター)
- シリアルRS-232インターフェース経由でリモート管理
- 警告ブロードキャスト機能により、管理者は、緊急のスクリーン表示用のネットワークに接続された
  SMART UF75/UF75wプロジェクターシステムに通知メッセージを送信
- DLP Link™ テクノロジーは、新たに登場した3Dコンテンツエコシステムとの互換性を保証

- ケーブルカバーに通して干渉や雑音を防止し、ケーブル配線を保護
- 安全な取付および設置システムとは
  - オプションのプロジェクターパドロックリングでブームからプロジェクターの取り外しを防止
  - 1枚壁または壁面のフレーム用の取付工具、安全ロープ
  - システムを安全に配置するためのテンプレートおよび指示書

拡張コントロールパネル(ECP)

プロジェクターシステムのECPは、インタラクティブホワイトボードペントレイに取り付けます。ECPの機能は、電源、ソース選択、音量調節、さらに、USBドライバー用のUSB Aコネクタです。

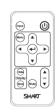
RCAコネクターポッド

RCAコネクタポッドは、RCAジャックがデュアルチャンネルオーディオ入力用に2個、および、コンポジットビデオ入力用に1個付属しています。RCAコネクタポッドを使用してDVD/Blu-rayプレーヤーおよび類似デバイスを接続することができます(*周辺デバイスのソースおよび出力を接続する*ページ33を参照)。

付属アクセサリ

以下の付属品がSMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムに含まれています。

リモートコントロール

リモートコントロールでは、システムをコントロールしたり、SMART UF75/UF75wプロジェクターのセットアップを可能にます。リモートコントロールを使用して、メニューオプション、システム情報、入力選択オプションにアクセスすることができます。

ペン

インタラクティブホワイトボードには、2本のペンが含まれています。ペンを取り、ペントレイの4色のカラーボタン(黒、赤、緑、青)を使い、インタラクティブホワイトボード上に書き込むデジタルインクの色を選択します。

重要

タッチ認識が有効の場合、ペンをホワイトボード マーカーなどの他のアイテムで代用しないでください。(タッチ認識により、ペントレイペンを持ってから、ペンを元に戻さずに書き込みや選択、そして消去が行えます。)

イレーサー

イレーサーは、長方形の黒板消しに似ています。これは、代替品を使用することができます。同様の形状でインタラクティブホワイトボードの表面に傷や跡をつけることがない、赤外線光を反射するものをお選びください。

オプションアクセサリ

用途に最適化するようにオプションの各種アクセサリを追加することができます。このようなアイテムは、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)からインタラクティブホワイトボードシステムのご注文時またはそれ以降でもご購入いただけます。

アクセサリの詳細情報については、smarttech.com/accessoriesをご覧ください。

章 2

インストールする インタラクティブホワイトボードシステム

製品の設置方法、そして、マウントテンプレートと拡張コントロールパネル(ECP)の使用方法については、付属のSMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステム設置指示書でご確認ください。

重要

ECPに付属の指示書に従って、インタラクティブホワイトボード、プロジェクター、ECPをインストールしてください。SMART Boardインタラクティブホワイトボードの箱に入っている指示書には、SMART UF75/UF75wプロジェクターまたはECPの設置に関する指示書が含まれていません。

本章では、インタラクティブホワイトボードシステムの設置に関する補足と詳細について説明します。

設置場所を決める

窓または天井の照明などの明るい光源から離れた場所にSMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムを設置してください。明るい光源に近い場合、気が散る原因となる影がインタラクティブホワイトボードに出たり、投影画像のコントラストが低下することがあります。

水平で標準的な壁面、そして、インタラクティブホワイトボードシステムの設置に最低限のスペースが確保された壁面を選んでください。インタラクティブホワイトボードは、同じ水平な表面に取り付けてください。最もよい表示結果を得るには、視聴者が見る方向の中心の位置にインタラクティブホワイトボードシステムを取り付けてください。可動式または調整可能な設置オプションについては、SMART認定代理店 (smarttech.com/wheretobuy)までお問合せください。

警告

- SMART BoardX880 インタラクティブホワイトボードの重量は、約23.7kg(52ポンド)です。(23.7 kg)設置予定の壁がこの重量に十分耐えられることを、該当する建築基準法などでご確認ください。また、壁の種類に適した取付具を使用してください。
- インタラクティブホワイトボードを乾式壁に取り付ける際には、付属のトグルボルトを使用してください。ブラケット穴の1つを壁の中の間柱に位置合わせする場合には、トグルボルトを使用せずにその穴に適した取付具を使用してください。
- プロジェクターブームを壁面のフレームまたはくぼみに取り付ける場合には、必ず取付用ブラケットに取り付けた上で、安全ロープを止め金具と結び、プロジェクターの重量を確実に支えられるようにしてください。乾式壁アンカーだけを使用した場合、石壁が剥がれ落ち、製品の破損や損傷事故につながります。

SMART Board500/600シリーズのインタラクティブホワイトボードをそれよりも重いX800シリーズインタラクティブホワイトボードに付け替えて乾式壁に設置する場合には、必ず壁面取付ブラケットと取付具を外して、すべてX800シリーズインタラクティブホワイトボードに適した取付具とブラケットを使用してください。

インタラクティブホワイトボードの背面の壁面取付ハンガーの色と壁面取付ブラケットの色が同じであることを確認することは、インタラクティブホワイトボードの適切な設置をより確実にします。

高さを決める

SMARTは、各 SMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムに取付テンプレートを付属しています。このテンプレートが見当たらない場合には、SMART認定代理店 (smarttech.com/wheretobuy)までお問合せください。このテンプレートを使用することで、以下の設置条件を確実にします。

- プロジェクターは、空気が通り、設置時にユニット上部にアクセスするための十分なスペースを確保できるように、上部空きスペースを考慮した安全な高さに設置してください。
- プロジェクターは、投影画像とタッチ画面の位置が合うように、インタラクティブホワイトボードの上の適正な高さに配置してください。

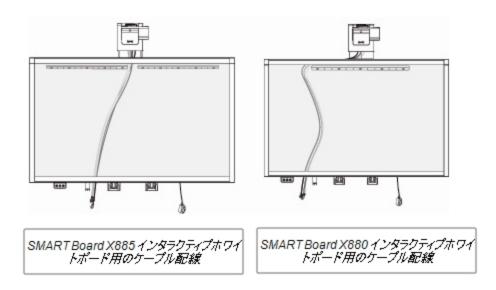
テンプレート上の寸法は、大人の平均身長に適した床からの高さを示す推奨値です。インタラクティブホワイトボードの配置位置の高さを決める場合には、使用するユーザの平均身長を考慮してください。

ケーブルを配線する

SMART UF75プロジェクターとインタラクティブホワイトボードをケーブルで接続する場合には、すべてのケーブルがインタラクティブホワイトボード壁面取付ブラケットの上面を通ってから、インタラクティブホワイトボードの側面を下がるように配線してください。

SMART UF75wプロジェクターとインタラクティブホワイトボードをケーブルで接続する際には、すべてのケーブルが2つのインタラクティブホワイトボード壁面取付ブラケットの間を通るようにしてください。壁面取付ブラケットのネジ穴最深部を10.2 cm(4インチ)間隔で配置することで、インタラクティブホワイトボードの重量を十分支えることが可能になります。

SMART Board X885 インタラクティブホワイトボード用のケーブル配線

SMART Board X880 インタラクティブホワイトボード用のケーブル配線

i 注記

すべてのケーブルをプロジェクターとECPに接続しないうちに、電源ケーブルを電源コンセントに接続しないでください。

SMARTソフトウェアをインストールする

すべての機能にアクセスするには、インタラクティブホワイトボードシステムに接続されたコンピューターにSMARTソフトウェアをインストールする必要があります。

smarttech.com/softwareからSMARTソフトウェアをダウンロードします。以下のページに各ソフトウェアバージョンのハードウエアの最低条件を示します。SMARTソフトウェアをコンピューターにインストールしてある場合には、この機会にソフトウェアをアップグレードして互換性を確実にしてください。

取り付ける インタラクティブホワイトボードシステム

本セクションでは、インタラクティブホワイトボードシステムのさまざまな構成部品の取付方法について説明します。

ペントレイをロックする インタラクティブホワイトボード

ペントレイをインタラクティブホワイトボードにロックする方法については、*SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボード ユーザーズマニュアル* (smarttech.com/kb/144817)をご参照ください。

プロジェクターをブームに取り付ける

SMART UF75/UF75wプロジェクターをブームへ取り付ける方法については、付属の*SMART Board X880i5/X885i5インタラクティブホワイトボードシステム インストールガイド* (smarttech.com/kb/154546)をご参照ください。

章 3

使用するインタラクティブホワイトボードシステム

本章では、インタラクティブホワイトボードシステムの基本操作に加えて、リモートコントロールをセットアップする、システム情報を検索する、プロジェクターの画像調節オプションにアクセスする、そして、インタラクティブホワイトボードシステムと周辺機器の統合化の方法について説明します。

プロジェクターを使用する

本セクションでは、プロジェクターおよび付属のリモートコントロールの使用方法について説明します。

リモートコントロールを使用する

SMART UF75/UF75wプロジェクターリモートコントロールでは、スクリーンプロジェクターメニューにアクセスしたり、プロジェクター設定を変更します。

リモートコントロール電池を取り付ける

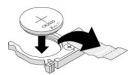
以下の手順に従って、初めてリモートコントロールを使用するか、あるいは、リモートコントロール電池を交換します。

警告

- 以下の手順に従って、プロジェクターのリモコン用乾電池からの液漏れに関連する危険性を減らします。
  - 指定のコインセル型電池以外は使用しないでください。
  - 電池の正極(+)と負極(-)をリモコンにマークされた印に合わせて取り付けてください。
  - リモコンを長期間使用しない場合には、電池を取り外してください。
  - 電池は、加熱、分解、短絡、再充電を行ったり、火気や高温にさらさないでください。
  - 電池からの液漏れが生じた場合には、眼や肌に触れないようにしてください。
- 使用済の電池や製品構成部品は、適用される法令を順守して廃棄してください。

リモートコントロール電池にアクセスする、あるいは、交換するには

1. 電池ホルダーのサイドリリースを押したまま、リモートコントロールから電池ホルダーを完全に引き出します。

2. 初めてリモートコントロールの電池にアクセスする際には、電池ホルダー内部のプラスチックシートをはがしてから、電池ホルダーにCR2025コインセル電池を入れます。

あるいは

リモートコントロールの電池交換をする場合、電池ホルダーから古い電池を取り出し、CR2025コインセル電池と交換します。

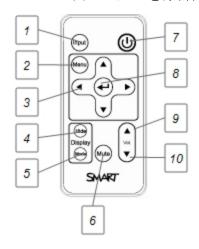
重要

電池の正極(+)と負極(-)を電池ホルダーの印に合わせて取り付けてください。

3. 電池ホルダーをリモートコントロールに挿入します。

リモートコントロールボタンを使用する

プロジェクターリモートコントロールを使用して、スクリーンメニューにアクセスしたり、プロジェクター設定を変更します。リモートコントロールまたはECPの**電源**ボタンを使用して、プロジェクターをスタンバイモー

ドに入れる、あるいは、オンにします。さらに、ECPリモートコントロールまたはECPの入力ボタンを押して、プロジェクターのソースを切り替えます。

番号	機能	内容
1	入力	入力元を選択
2	メニュー	プロジェクターメニューを表示
3	◀(左)、▶(右)、 ▲(上)、▼(下)の矢印	メニュー選択および調節を変更
4	非表示	画像の固定、非表示、表示 ● 画像を1回押してフリーズします。 例えば、電子メールをチェックしながら、画面に質問を表示することができます。 ● 画像をもう1度押すと、黒い画面が表示されます。 ● 再び押すと、ライブ画像に戻ります。
5	モード	ディスプレイモードを選択
6	ミュート	オーディオ出力デバイス(付属なし)からミュート設定を制御
7	⏻(電源)	プロジェクターをスタンバイモードに入れる、あるいは、オンにする
8	↵ (Enter)	選択されたモードまたはオプションの受付
9	▲(音量アップ)	音量を上げる
10	▼(音量ダウン)	音量を下げる

プロジェクター設定を調節する

リモート制御の**メニュー**ボタンを使用して、スクリーンディスプレイにアクセスしてプロジェクター設定の調節を行います。

重要

ECP上にはプロジェクターメニューオプションはありません。ECPはリモート制御の代替え機能がありません。したがって、リモート制御は安全な場所に保管してください。

設定	用途	注意
画像調節メニュー		
ディスプレイモード	プロジェクターのディスプレイ出力を示します(**SMARTプレゼンテーション**、**明るい部屋**、**暗い部屋**、**sRGB**、**ユーザ**)。	デフォルトは、SMARTプレゼンテーションです。
輝度	プロジェクター輝度を0～100の範囲で調節します。	デフォルトは、50です。
コントラスト	A画像を0(最も明るい)～100(最も暗い)の範囲で調節します。	デフォルトは、50です。
周波数	投影画像のディスプレイデータ周波数を-5～5に調節して、コンピューターのグラフィックスカードの周波数と一致させます。	デフォルトは、0です。 この設定は、VGA入力にのみ適用されます。
トラッキング	プロジェクターのディスプレイタイミングをコンピューターのグラフィックスカードと0～63の範囲で同期させます。	この設定は、VGA入力にのみ適用されます。
Hポジション	投影画像の水平位置を左右に0～100の範囲で移動させます。	この設定の調節は、認定SMARTサポートスペシャリスト(smarttech.com/contactsupport)の指示がない限り、行わないでください。 この設定は、すべてのズーム調節が行われた後にだけ適用されます。 この設定は、VGA入力にのみ適用されます。
Hポジション	投影画像の垂直位置を上下に-5～5の範囲で移動させます。	この設定の調節は、認定SMARTサポートスペシャリスト(smarttech.com/contactsupport)の指示がない限り、行わないでください。 この設定は、すべてのズーム調節が行われた後にだけ適用されます。 この設定は、VGA入力にのみ適用されます。

設定	用途	注意
彩度	投影画像の色彩度を0～100の範囲で調節します。	この設定は、Sビデオ入力および合成ビデオ入力にのみ適用されます。
鮮明度	投影画像の彩度を0～31の範囲で調節します。	この設定は、Sビデオ入力および合成ビデオ入力にのみ適用されます。
ティント	画像の赤色と緑色のカラーバランスを0～100の範囲で調節します。	この設定は、Sビデオ入力および合成ビデオ入力にのみ適用されます。
ホワイトピーク	鮮明なホワイトシェードを実現すると同時に、画像色の輝度を0～10の範囲で調節します。	値が0に近づくほど、自然な画像を作成し、10に近づくほど輝度が増加します。
γ補正	ディスプレイのカラーパフォーマンスを0～3の範囲で調節します。	
色	プロジェクター上の赤、緑、青、シアン、マジェンダ、黄の色を0～100の範囲で調節し、カスタムカラーと輝度出力を実現します。	各色のデフォルト値は、100です。 カラー設定への調節はユーザーモードに登録します。
オーディオメニュー		
音量	プロジェクターの音量を-20～20の範囲で増減します。	デフォルトは、0です。
ミュート	プロジェクターのオーディオ出力をミュートにします。	プロジェクターのオーディオ出力をミュートにしてから、音量を増減すると、ミュートが自動的に解除されます。こうならないためには、音量制御を無効にしてください。
音量制御を無効にする	プロジェクターの音量制御およびECPの音量制御ノブを無効にします。	
クローズド キャプション	クローズド キャプションをオン / オフに切り替えます。	
クローズド キャプションの言語	クローズド キャプションを**CC1** または**CC2**に設定します。	テレビチャネルまたはメディアのセットアップに応じて、**CC2**はフランス語またはスペイン語などの他の言語を表示し、**CC1**は英語の字幕を表示します。
デフォルトメニュー		
3Dのオン/オフ	3D機能をオン / オフに切り替えます。	デフォルトは、オフです。
3Dフォーマット	3Dフォーマット(**インターリーブ**または**オーバーアンダー**を表示します。	**インターリーブ**は、それぞれの目に対する画像フレームを細分化し、各フレームからの画像情報のラインを交互に表示します。 **アンダーオーバー**は、左右の目にそれぞれに画像フレームを水平方向に引き伸ばし、一方をもう片方の上に同時に表示します。

設定	用途	注意
3D Invert 左右	3D反転の設定(**L-R**または**R-L**)を選択します。	**L-R**は、左目用の画像データを先に表示します。 **R-L**は、右目用の画像データを先に表示します。
自動信号検知	入力コネクタの信号検知を有効または無効にします。	**オン**を選択して、アクティブなビデオソースを検知するまで、プロジェクターのスイッチ入力を継続します。 **オフ**を選択して、1つの入力で信号検知を継続します。
ランプリマインダ	ランプ交換リマインダをオン / オフにします。	このリマインダは、推奨するランプ交換時期の100時間前に表示されます。
ランプモード	ランプ輝度を **標準** または**エコノミー**に調節します。	**標準**モードは、高品質の明るい画像を表示します。 **エコノミー**モードは、画像の輝度を減少させてランプ寿命を延ばします。
自動電源オフ(分単位)	自動電源オフのカウントダウンタイマーを1～240分の範囲で設定します。	デフォルトは、120分間です。 プロジェクターがビデオ信号を受信しなくなると、タイマーのカウントダウンを開始します。プロジェクターがスタンバイモードに入ると、タイマーは終了します。 0を選択するとタイマーはオフになります。
ズーム	画像の中央に向かうズームを0～30の範囲で調節します。	デフォルトは、0です。 この設定は、ズームに機械的に行った画像調節を変更します。
プロジェクターID	ネットワーク内におけるプロジェクターのユニークなID番号(0～99)を表示します。	

設定	用途	注意
アスペクト比	画像出力を**全画面**、**マッチ**入力、**16:9**に調節します。	**全画面**は、ストレッチングとスケーリングで画像を全画面に表示します。 **マッチ**入力は、入力の縦横比にプロジェクターの縦横比を一致させます。結果として、画面の上下の水平方向(レターボックスフォーマット)または左右の垂直方向(ピラーボックスフォーマット)に黒の帯が表示されます。 **16:9**では、出力を16:9に変更し、画像はレターボックスフォーマットになります。これは、横長テレビのHDTVおよびDVD/Blu-rayディスクに対して推奨される比率です。 各モードの外観に関する説明については、*ビデオ形式の互換性* ページ29をご参照ください。
起動画面	起動画面のタイプ(**SMART**、**ユーザ起動画面のキャプチャ**、**起動画面のプレビュー**)を選択します。	この画面は、プロジェクターランプが始動し画像が表示されていない場合、この画面が表示されます。 **SMART**には、青色の背景にデフォルトのSMARTロゴが表示されます。 **ユーザ起動画面のキャプチャ**は、スクリーンディスプレイメニューを閉じて、投影されたインタラクティブホワイトボード画像全体をキャプチャします。スクリーンディスプレイが次回開くと、キャプチャした画像が表示されます。(キャプチャに要する時間は、1分間程度ですが、背景グラフィックの複雑さに応じて前後します。) **起動画面のプレビュー**は、デフォルトまたはキャプチャした起動画面のプレビューを可能にします。
デフォルトに設定?	プロジェクター設定を各々のデフォルト値にリセットします。	**はい**を選択すると、すべてのプロジェクター設定を各々のデフォルト値にリセットし、メニュー変更を変更前に戻します。なおリセットした場合、元に戻すことはできません。 この設定の調節は、適用されている設定をすべてリセットする場合、あるいは、認定SMARTサポートスペシャリスト(smarttech.com/contactsupport)の指示がない限り、行わないでください。

設定	用途	注意
USB1ソース	ECPのルームコンピューターのUSBコネクタ(USB1)にビデオソースを関連付けて選択したビデオソース(**VGA1**、**VGA2**、**HDMI**、無効)へのタッチを有効にします。	デフォルトは、**VGA1**です。 この設定であなたが選択したビデオソースにユーザが切り替えた場合、インタラクティブホワイトボードは、ECPのルームコンピューターのUSBコネクタに接続されたデバイスからのタッチを認識します。 無効を選択すると、ECPのルームコンピューターのUSBコネクタを無効にします。
USB2ソース	ECPのラップトップのUSBコネクタ(USB2)にビデオソースを関連付けて選択したビデオソース(**VGA1**、**VGA2**、**HDMI**、無効)へのタッチを有効にします。	デフォルトは、**VGA2**です。 この設定であなたが選択したビデオソースにユーザが切り替えた場合、インタラクティブホワイトボードは、ECPのラップトップのUSBコネクタに接続されたデバイスからのタッチを認識します。 無効を選択すると、ECPのラップトップのUSBコネクタを無効にします。
ネットワークメニュー		
ネットワークとVGA出力	VGA出力とネットワーク機能を有効化します。	
状態	現在のネットワークステータス(**接続**、**分離**、**オフ**)を表示します。	
DHCP	ネットワークのDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)のステータスを**オン**または**オフ**で表示します。	**オン**は、自動でDHCPサーバーのIPアドレスをプロジェクターに割り当てます。 **オフ**は、管理者が手動でIPアドレスを割り当てることができるようにします。
パスワードリマインダ	ネットワークパスワードを電子メール受信者に送信します。	*ウェブページの管理* ページ60をご参照の上、送信先の電子メールアドレスをセットアップしてください。
IP アドレス	プロジェクターのIPアドレスを0.0.0.0～255.255.255.255の範囲で表示します。	
サブネットマスク	プロジェクターのサブネットワークマスク番号を0.0.0.0～255.255.255.255の範囲で表示します。	
ゲートウェイ	プロジェクターのデフォルトネットワークゲートウエイを0.0.0.0～255.255.255.255の範囲で表示します。	
DNS	プロジェクターのプライマリドメインネーム番号を0.0.0.0～255.255.255.255の範囲で表示します。	

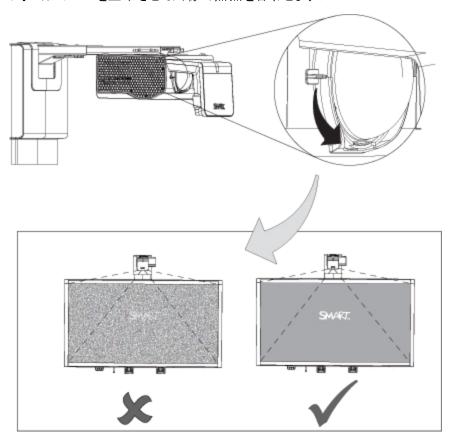
設定	用途	注意
MACアドレス	プロジェクターのMACアドレスをxx-xx-xx-xx-xx-xx の形式で表示します。	
グループ名	管理者が設定したプロジェクターのワークグループ名を表示します(最大12文字)。	
プロジェクター名	管理者が設定したプロジェクター名を表示します(最大12文字)。	
場所	管理者が設定したプロジェクターの場所を表示します(最大16文字)。	
問合せ窓口	管理者が設定したプロジェクターのサポート担当者名または電話番号を表示します(最大16文字)。	
言語メニュー		
言語	言語の環境設定を選択します。	プロジェクターメニューサポートは、英語(デフォルト)、ブラジルポルトガル語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシア語、イベリアポルトガル語、イタリア語、ハングル語、日本語、ノルウェー語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、スペイン語、スウェーデン語、繁体中国語で利用可能です。
情報メニュー		
ランプ時間	前回のリセット以降に経過した現在のランプの使用時間を0～4000時間で表示します。	ランプ交換リマインダは、経過した使用時間を基準にしていますので、ランプ交換時には必ずランプをリセットしてください。ランプ使用時間のリセット手順に関する詳細については、*ランプタイマーをリセットする*ページ41をご参照ください。
入力	現在の入力ソース(**VGA1**、**VGA2**、**コンポジット**、**Sビデオ**、**HDMI**、**なし**)を表示します。	
解像度	プロジェクターの現在のディスプレイ解像度を表示します。	
ファームウェアのバージョン	プロジェクターのファームウェアバージョンをx.x.x.xの形式で表示します。	
MPUバージョン	プロジェクターのマイクロプロセッサのファームウェアバージョンをx.x.x.xの形式で表示します。	
ネットワークバージョン	ネットワークカードのファームウェアバージョンをx.x.x.xの形式で表示します。	
機種番号	プロジェクターの機種番号を表示します。	

設定	用途	注意
シリアル番号	プロジェクターのシリアル番号を表示します。	

画像の焦点設定

投影画像の焦点を設定するには、プロジェクターのレンズにあるフォーカスレバーを使用します。

画像の焦点設定と調節を行うには

フォーカスレバーを上下させて画像の焦点を合わせます。

プロジェクターイメージを調節する

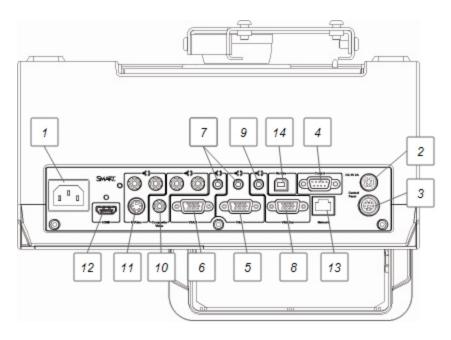
付属の*SMART Board X880i5/X885i5インタラクティブホワイトボードシステムインストールガイド* (smarttech.com/kb/154546)の説明に従って、投影画像を調節する場合には、以下の注意をご参照ください。

- 画像の調節時にコンピューター画像を適切な解像度に設定します。コンピューターがない場合には、フルプロジェクター画像で鮮明なプロジェクターのデフォルトの背景を使用してください。可能な場合には、調整が簡単な真っ白な画面を使用してください。
- プロジェクターのスクリーンメニューオプションを使用せずに画像調節を行う場合には、設置指示書の指示通りに調節を進めてください。
- プロジェクターを上に傾ける、あるいは、取付ブームを下げることで、画像を上方に向ける場合には、全体の投影画像、特に投影画像の底部で拡大縮小を行うようにします。
- キーストーン(傾斜)の調節時には、画像の左右のエッジを配置前に、インタラクティブホワイトボードに対し画像のトップエッジとボトムエッジが水平になっていることを確認してください。
- ブーム上でプロジェクターを前後に移動させて画像を拡大または縮小する場合には、プロジェクターを若干傾けるか回転させて、画像を正方形に保つ必要があります。この調節では、レバーを少し緩めるとやりやすくなります。
- 画像の微調整は、設置指示書の説明に従って、すべての手順を繰り返して、少しずつ増減する必要があります。

SMART UF75/UF75wプロジェクター接続図

プロジェクターには、DVD/Blu-rayプレーヤー、VCR、document camera、デジタルカメラ、高解像度ソースなどのさまざまな周辺機器だけでなく、2台目のプロジェクター、フラットパネルディスプレイ、パワードスピーカーなどの周辺機器(出力)を接続することができます。

注記

一部の周辺機器を接続する場合には、サードパーティーのアダプターをご購入いただく必要があります。

No.	コネクタ	接続先：
1	電源	電源
2	4ピン電源用ミニDIN 5V/2A出力	ECPハーネスケーブル
3	7ピン ミニDIN	ECPハーネスケーブル
4	RS-232F (DB9)	ECPハーネスケーブル
5	DB15F RGBビデオ入力(VGA 1)	プライマリコンピューター(付属なし)
6	DB15F RGBビデオ入力(VGA 2)	セカンダリコンピューター(付属なし)
7	3.5 mmステレオオーディオ入力(×2)	ステレオYケーブル
8	DB15F RGBビデオ出力(VGA Out)	セカンダリディスプレイ(付属なし)
9	3.5 mmステレオオーディオ出力	スピーカー(付属なし)
10	RCAコンポジットビデオ入力 (左右RCAオーディオ入力)	ビデオソース(付属なし)RCAコネクタポッド経由
11	4ピン ミニDIN Sビデオ入力 (左右RCAオーディオ入力)	ビデオソース(付属なし)
12	HDMI入力	HDビデオソース(付属なし)
13	RJ45	ネットワーク(ウェブページ管理およびSNMPアクセス用)
14	USB B	コンピューター(サービスアクセス用)

注意

- SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボードの接続については、*SMART Board X880i5/X885i5インタラクティブホワイトボードシステム インストールガイド* (smarttech.com/kb/154546)をご参照ください。
- アクセサリをSMART Boardインタラクティブホワイトボードに接続するには、アクセサリに付属の文書をご参照ください。また、追加情報については、SMARTサポートホームページ (smarttech.com/support)をご覧ください。

使用するインタラクティブホワイトボード

インタラクティブホワイトボードの使用に関する詳細については、*SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボード ユーザーズマニュアル* (smarttech.com/kb/144817)をご参照ください。

SMART Boardインタラクティブホワイトボードシステムを SMARTソフトウェアを使用してコンピューターに接続すると、インタラクティブホワイトボードの全機能にアクセスすることができます。

本ソフトウェアに関する詳細については、インタラクティブホワイトボード ペントレイの**ヘルプ**を押してください。

さらに詳細な情報については、smarttech.comに進み、SMARTロゴの右のフラグアイコンをクリックしてから、国名および言語を選択します。このサイトのサポートセクションでは、セットアップ手順および仕様を含む、最新の製品別の情報をご覧いただけます。さらに、SMART学習スペース (learningspace.smarttech.com)には、無料の学習リソース、実践レッスン、さらにトレーニング方法に関する情報があります。

拡張コントロールパネル(ECP)を使用する

ECPでは、インタラクティブホワイトボードシステムの基本操作をコントロールできます。ECPまたはリモートコントロールの**電源** ⏻ ボタンを押して、プロジェクターシステムをスタンバイモードに入れるか、あるいは、オンにします。ECPまたはリモートコントロールの入力ボタンを押して、プロジェクターのソースを切り替えます。

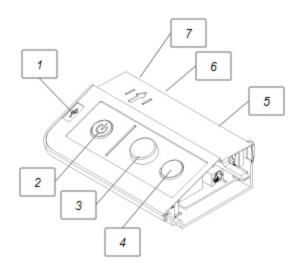
重要

- ECP上にはプロジェクターメニューオプションはありません。ECPはリモートコントロールの代替えの役割を持たないため、安全な場所にリモートコントロールを保管してください。
- インタラクティブホワイトボードまたはホストコンピューター用のコントロールが外れるため、周辺デバイスをECPに接続しているケーブルは外さないでください。

注記

低電源モードは、スタンバイモードのときにインタラクティブホワイトボードシステムの消費電力を低減します。

スタンバイモードに入ったときに自動的にプロジェクターシステムを低電源モードに入れるには、**電源**⏻ボタンを押しながら同時に入力ボタンを5秒間押します。5秒間後、**電源**⏻ボタンが黄色に2秒間点滅し、低電源モードが有効であることを示します。

以下の図と表は、ECPの構成部品の説明です。

番号	機能
左側	
1	USB Aコネクタ(USBドライブ用)
フロント	
2	電源⏻ステータスインジケータランプ
3	音量制御
4	入力選択
後部	
5	2つのミニUSB Bコネクタ(ルームコンピューターおよびラップトップに接続)
6	11ピンコネクタ(ECPハーネスケーブルに接続)
7	4ピンコネクタ(ルームコントロール用)

注記

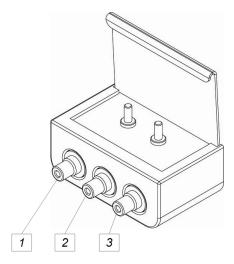
4ピンコネクタケーブルは、オプションの付属品です。SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)からご注文いただけます。

ヒント

コンピューターにHDMI出力がある場合、コンピューターのUSBケーブルはECPのUSB Bコネクタのどちらか一方に接続し、コンピューターのHDMIケーブルはプロジェクターのHDMIコネクタに接続します。HDMIソースを適切なUSBコネクタに関連付けします(page 20を参照)。ECPの入力ボタンを押してHDMI入力に切り替えます。

RCAコネクターポッドを使用する

RCAコネクタポッドを使用して、3つのRCAジャックでDVD/Blu-rayプレーヤーおよびその他のデバイスをインタラクティブホワイトボードシステムに接続します(*周辺デバイスのソースおよび出力を接続する*ページ33参照)。

以下の図と表は、RCAコネクタポッドの構成部品の説明です。

番号	機能
1	RCAコンポジットビデオ入力(DVD/Blu-rayプレーヤーなどの周辺機器デバイス用)
2	RCAオーディオジャック(右入力)
3	RCAオーディオジャック(左入力)

章 4

その他のデバイスを統合する

本章では、SMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムと周辺機器統合化に関する情報について説明します。

ビデオ形式の互換性

SMART UF75/UF75wプロジェクターは、ネイティブビデオ形式と各種ビデオ形式との互換性モードを備えています。一定の形式および互換性に合わせて画像の外観を変更することができます。

ネイティブビデオ形式

下表は、プロジェクターのネイティブVESA RGBビデオ形式のリストです。

プロジェクター	解像度	モード	縦横比	リフレッシュレート (Hz)	水平同期周波数(kHz)	ピクセルクロック(MHz)
SMART UF75	1024 × 768	XGA	4:3	60	48	63.5
SMART UF75w	1280 × 800	WXGA	16:10	60	48	83.5

ビデオ形式の互換性

次表は、プロジェクターと互換性のあるVESA RGBビデオフォーマットの解像度別リストです。*デフォルトメニュー*ページ17に記載された縦横比コマンドを使用して調節することができます。

SMART UF75プロジェクター

解像度	モード	縦横比	リフレッシュレート (Hz)	「Match Input」の外観
720 × 400	720×400_85	1.8:1	85.039	レターボックス
640 × 480	VGA 60	4:3	59.94	全画面表示
640 × 480	VGA 72	4:3	72.809	全画面表示
640 × 480	VGA 75	4:3	75	全画面表示
640 × 480	VGA 85	4:3	85.008	全画面表示
800 × 600	SVGA 56	4:3	56.25	全画面表示
800 × 600	SVGA 60	4:3	60.317	全画面表示
800 × 600	SVGA 72	4:3	72.188	全画面表示
800 × 600	SVGA 75	4:3	75	全画面表示
800 × 600	SVGA 85	4:3	85.061	全画面表示
832 × 624	MAC 16"	4:3	74.55	全画面表示
1024 × 768	XGA 60	4:3	60.004	全画面表示
1024 × 768	XGA 70	4:3	70.069	全画面表示
1024 × 768	XGA 75	4:3	75.029	全画面表示
1024 × 768	XGA 85	4:3	84.997	全画面表示
1024 × 768	MAC 19"	4:3	74.7	全画面表示
1152 × 864	SXGA1 75	4:3	75	全画面表示
1280 × 768	SXGA1 75	1.67:1	60	レターボックス
1280 × 800	WXGA	16:10	60	レターボックス
1280 × 800	WXGA	16:10	58.2	レターボックス
1280 × 960	Quad VGA 60	4:3	60	全画面表示
1280 × 960	Quad VGA 85	4:3	85.002	全画面表示
1280 × 1024	SXGA3 60	5:4	60.02	レターボックス
1280 × 1024	SXGA3 75	5:4	75.025	レターボックス
1280 × 1024	SXGA3 85	5:4	85.024	レターボックス
1400 × 1050	SXGA+	4:3	59.978	全画面表示
1600 × 1200	UXGA	4:3	60	全画面表示

SMART UF75wプロジェクター

解像度	モード	縦横比	リフレッシュレート (Hz)	「Match Input」の外観
720 × 400	720×400_85	9:5	85.039	レターボックス
640 × 480	VGA 60	4:3	59.94	ピラーボックス
800 × 600	VGA 72	4:3	72.809	ピラーボックス
800 × 600	VGA 75	4:3	75	ピラーボックス
800 × 600	VGA 85	4:3	85.008	ピラーボックス
800 × 600	SVGA 56	4:3	56.25	ピラーボックス

解像度	モード	縦横比	リフレッシュレート (Hz)	「Match Input」の外観
800 × 600	SVGA 60	4:3	60.317	ピラーボックス
800 × 600	SVGA 72	4:3	72.188	ピラーボックス
800 × 600	SVGA 75	4:3	75	ピラーボックス
800 × 600	SVGA 85	4:3	85.061	ピラーボックス
832 × 624	MAC 16"	4:3	74.55	ピラーボックス
1024 × 768	XGA 60	4:3	60.004	ピラーボックス
1024 × 768	XGA 70	4:3	70.069	ピラーボックス
1024 × 768	XGA 75	4:3	75.029	ピラーボックス
1024 × 768	XGA 85	4:3	84.997	ピラーボックス
1024 × 768	MAC 19"	4:3	74.7	ピラーボックス
1152 × 864	SXGA 75	4:3	75	ピラーボックス
1280 × 768	WXGA 60	1.67:1	60	レターボックス
1280 × 960	Quad VGA 60	4:3	60	レターボックス
1280 × 960	Quad VGA 85	4:3	85.002	レターボックス
1280 × 960	SXGA3 60	5:4	60.02	ピラーボックス
1280 × 1024	SXGA3 75	5:4	75.025	ピラーボックス
1400 × 1050	SXGA3 85	5:4	85.024	ピラーボックス
1600 × 1200	SXGA+	4:3	59.978	ピラーボックス
1600 × 1200	UXGA_60	4:3	60	ピラーボックス

HDおよびSD信号形式の互換性

下表は、プロジェクターのHDおよびSD信号形式の互換性に関するリストです。デフォルトメニューページ17に記載された縦横比コマンドを使用して調節することができます。

SMART UF75プロジェクター

信号形式	縦横比	水平同期周波数 (kHz)	垂直同期周波数 (kHz)	「Match Input」の外観
480i (DVDプレーヤー) (640 × 480)	4:3	15.73	59.94	全画面表示
567i (DVDプレーヤー) (720 × 576)	5:4	15.63	50	レターボックス
720p	16:9	44.96	59.94	レターボックス
720p	16:9	35	50	レターボックス
1080i	16:9	33.7	59.94	レターボックス
1080i	16:9	28.1	50	レターボックス

SMART UF75wプロジェクター

信号形式	縦横比	水平同期周波数 (kHz)	垂直同期周波数 (kHz)	「Match Input」の外観
480i (525i)	4:3	15.73	59.94	全画面表示
480p (525p)	4:3	31.47	59.94	全画面表示
576i (625i)	5:4	15.63	50	ピラーボックス
576p (625p)	5:4	31.25	50	ピラーボックス
720p (750p)	16:9	45	59.94	レターボックス
720p (750p)	16:9	37.5	50	レターボックス
1080i (1125i)	16:9	33.75	59.94	レターボックス
1080i (1125i)	16:9	28.13	50	レターボックス
1080p (1125p)	16:9	67.5	59.94	レターボックス
1080p (1125p)	16:9	56.25	50	レターボックス

ビデオシステム信号の互換性

次表は、プロジェクターのビデオシステム信号(特に、Sビデオコネクタとコンポジットビデオコネクタに送信される信号)の互換性のリストです。*デフォルトメニュー* ページ17に記載された縦横比コマンドを使用して調節することができます。

> **注記**
>
> **16:9**コマンドは、画面の上端と下端に黒い帯のある全ビデオモードを配信します。**マッチ**入力コマンドは、入力解像度に応じて、画面の上端と下端に空白帯のあるビデオモードを配信します。

SMART UF75プロジェクター

ビデオモード	縦横比	水平同期周波数 (kHz)	垂直同期周波数 (kHz)	カラー信号 (MHz)
NTSC	4:3	15.73	29.96	3.58
PAL	4:3	15.62	25	4.43
SECAM	4:3	15.62	25	4.25 (f_{ob}) 4.06 (f_{or})

SMART UF75wプロジェクター

ビデオモード	縦横比	水平同期周波数 (kHz)	垂直同期周波数 (kHz)	カラー信号 (MHz)
NTSC	4:3	15.73	59.94	3.58
PAL	4:3	15.63	50	4.43
SECAM	4:3	15.63	50	4.25および4.41
PAL-M	4:3	15.73	59.94	3.58
PAL-N	4:3	15.63	50	3.58

ビデオモード	縦横比	水平同期周波数 (kHz)	垂直同期周波数 (kHz)	カラー信号 (MHz)
PAL-60	4:3	15.73	59.94	4.43
NTSC 4.43	4:3	15.73	59.94	4.43

周辺デバイスのソースおよび出力を接続する

インタラクティブホワイトボードシステムに周辺デバイスを短時間接続する場合には以下の指示に従ってください。

注意

- プロジェクターと接続したい周辺デバイス間の距離を測定します。それぞれのケーブルが十分に長く、張り切った状態でないこと、つまずかないように安全に配線されていることを確認します。
- インタラクティブホワイトボードまたはホストコンピューター用のコントロールが外れるため、周辺デバイスをECPに接続しているケーブルは外さないでください。
- SMART Boardオーディオ(SBA-L) USBスピーカーは、RCAコネクタポッドに接続しないでください。このスピーカーは、デュアルチャネル(左右)RCA 3.5プラグ～ 3.5 mmオーディオコネクタケーブル(スピーカーに同梱)を使用して、プロジェクターの接続パネルに接続します。
- RCAコネクタポッドのコンポジットビデオコネクタと関連のデュアルチャネルオーディオ入力は、入力用のみです。このRCAジャックは、出力信号を送ります。

DVD/Blu-rayプレーヤーまたは類似デバイスを接続するには

1. スピーカーをインストールしたら、ECPの音量ダイヤルを完全に下に回して、雑音を消します。
2. 周辺デバイスの入力ケーブルをRCAコネクタポッドのコネクタに接続します。
3. ECPまたはリモートコントロールの入力ボタンを押して、入力ソースを周辺デバイスへ切り替えます。
4. ECPの音量ダイヤルで音量を元に戻します。

章 5

メンテナンス インタラクティブホワイトボードシステム

本章では、SMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムの適切なクリーニング方法と破損の防止方法について説明します。

メンテナンス インタラクティブホワイトボード

インタラクティブホワイトボードのメンテナンスに関する情報については、*SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボード ユーザーズマニュアル*(smarttech.com/kb/144817)をご参照ください。

プロジェクターのクリーニング

警告

プロジェクターを壁面に取り付けたままの状態でクリーニングを行った場合、落下または損傷事故につながることがあります。脚立を使用する場合やプロジェクターを壁面取付ブラケットから取り外してクリーニングを行うときには、注意してください。

注意

- 手やブラシで鏡に触れないでください。付属のクリーニングクロスで鏡の表面をごしごしとこすってはいけません。ごしごしとこするのではなく、付属のクリーニングクロスで鏡を軽く拭いてください。クロスや鏡には洗剤を使用しないでください。

- プロジェクターのクリーニング前に、ECPまたはリモートコントロールの**電源**⏻ボタンを2回押してシステムをスタンバイモードにしてから、ランプを最低30分間冷やしてください。
- プロジェクターには、クリーナー、洗剤、圧縮空気を直接スプレーしないでください。スプレー式のクリーナーや洗剤は、ユニットが損傷したり、汚れるため、プロジェクターの部品の付近にはスプレーをしないでください。システムにスプレーすることにより、プロジェクターやランプの構成部品に霧状の薬品が広がって、画像品質を損なったり劣化する場合があります。
- いかなる種類の液体または業務用洗剤も、プロジェクターのベースまたはヘッドに流れ出たりしないようにしてください。

重要

- インタラクティブホワイトボードシステムのクリーニングのときには
  - 糸くずの出ない布でプロジェクターの外側を拭きます。
  - 必要に応じて、柔らかな布に刺激の少ない洗剤を含ませてプロジェクターハウジングを清掃します。
- 研磨剤、ワックス、洗剤を含むクリーナーは使用しないでください。

プロジェクターミラーのクリーニング

- 送風機バルブまたはブロワーバルブ(一般のAV機器販売店で購入可)を使用してほこりを吹き飛ばします。素手またはブラシで鏡に触れないでください。
- やむ負えず鏡を拭く必要がある場合には、保護グローブを着用し、クリーニングクロスを丸めます。羽ぼうきを使用するときのようにクリーニングクロスで静かに鏡を拭いてください。

プロジェクターレンズのクリーニング

- 送風機バルブまたはブロワーバルブ(一般のAV機器販売店で購入可)を使用してほこりを吹き飛ばします。素手またはブラシでレンズに触れないでください。
- やむ負えずレンズを拭く必要がある場合には、保護グローブを着用し、クリーニングクロスを丸めます。羽ぼうきを使用するときのようにクリーニングクロスで静かにレンズを中心からエッジに向かって拭いてください。

投影画像の焦点設定/調節

プロジェクター画像の焦点設定と調節については、*画像の焦点設定* ページ22および*プロジェクターイメージを調節する* ページ23をご参照ください。

プロジェクター･ランプを交換する

本セクションでは、プロジェクターランプの交換手順について詳しく説明します。

プロジェクターランプモジュールの取り外しおよび交換

ランプモジュールがうす暗くなり、ランプ交換を知らせるメッセージが表示されます。次の手順に進む前に、交換用のプロジェクターランプが用意されていることを確認してください。

警告

- プロジェクターにランプ寿命警告メッセージが表示されたら、ランプを交換します。このメッセージが表示された後も、プロジェクターの使用を続けた場合、ランプが砕けたり、破裂して、プロジェクター全体にガラスが飛散する危険性があります。
- ランプが割れる、あるいは、破裂した場合、その場を離れてから、換気します。

  続いて、下記を行います。

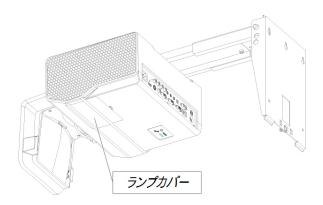
  - 思わぬけがをする危険性がありますので、決してガラスの破片には触れないでください。
  - 万一、ランプの砕片に触れた場合には、十分に手を洗ってください。
  - プロジェクターの周辺を十分に清掃する共に、その場にあった食物については、破片等の異物混入の可能性があるため、廃棄してください。
  - SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)から指示を受けてください。決して、ランプを交換しようとしてはいけません。
- プロジェクターを壁面に取り付けたまま状態でランプ交換を行った場合、落下または損傷事故につながることがあります。梯子に登るときやプロジェクターを壁面取付ブラケットから取り外して、ランプを交換するときには、注意してください。
- プロジェクターを壁面取付ブラケットに取り付けた状態でランプカバーを外した場合に、ランプが破損するようなことが起きたとき、ガラスの破片が落下し、損傷事故や製品の破損につながることがあります。

- プロジェクターランプの交換:
  - プロジェクターをスタンバイモードに入れて、30分間ランプが完全に冷えるのを待ちます。
  - ランプ交換の指示書で指定されたネジ以外は、外してはいけません。
  - ランプの交換中、眼を保護するメガネを使用してください。メガネを使用しない場合、万一ランプの破損や破裂するようなことが起きたとき、損傷事故や視力喪失に至ることもあり得ます。したがって、必ず使用してください。
  - SMART Technologies認証の交換用ランプ以外は使用しないでください。交換部品についてはSMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)までお問い合わせください。
  - ランプアッセンブリーを使用済ランプアッセンブリーと取り替えないでください。
  - ランプの機能不全を早める、あるいは、水銀に触れるような危険性を防止するために、壊れやすいランプアッセンブリーは、常に慎重に取り扱ってください。ランプに触れる際は、手袋を着用してください。ランプに素手で触れないでください。
  - ランプは、地域の法令を順守し、有害廃棄物として再利用または廃棄してください。

以下の手順を実行するには、2番ドライバーとマイナスドライバーが必要です。

古いランプを取り外すには

1. リモートコントロールまたはECPの電源⏻ボタンを2度押して、プロジェクターをスタンバイモードに入れます。
2. 最低30分間プロジェクターが冷めるまで待ちます。
3. プロジェクターから電源ケーブルを外します。

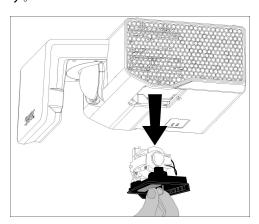
4. プロジェクターからランプカバーを外して安全な場所に置きます。

ヒント

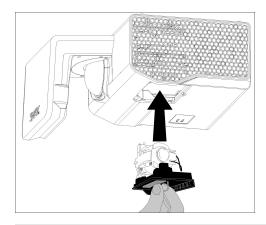
カバーを外し難いときは、ランプカバー底部スロットにマイナスドライバーまたは小銭を差し込んで、カバーを静かに引き離してください。

5. Phillipsドライバーを使用して、ランプモジュール底部の2本の留めネジを緩めます。

注記

留めネジは、取り外さないでください。留めネジは、取り外さずに緩めてください。

6. ランプモジュール底部のハンドルを使用して、ランプを引き出して、プロジェクターから取り外します。

新しいランプモジュールをプロジェクターに取り付けるには

1. 新しいランプモジュールの梱包を解きます。
2. モジュール上面のハンドルを使用して、慎重に、ランプモジュールをプロジェクター内に入れます。ランプモジュールを垂直に支えながら、スロットに入れます。ランプモジュールの電源側を静かにプロジェクターに押し付けて、電源プラグをプロジェクター電源コネクタに確実に接触させます。

> **注記**
>
> ランプモジュールは強い力をかけなくても、簡単にプロジェクターに入れることができます。

3. Phillipsドライバーを使用して、留めネジを締めます。
4. 慎重に外側ランプカバーを元に戻します。
5. 電源ケーブルを壁面コンセントに接続します。
6. リモートコントロールまたはECPの**電源**⏻を1回押して、プロジェクターが作動していること、そして、ランプモジュールが正しく取り付けられていることを確認します。
7. 古いランプは、安全な容器に入れて、再利用するまでの間、静かに取り扱ってください。

プロジェクターランプを取り付けた後には

1. プロジェクターをオンにします。
2. 必要に応じてプロジェクターの画像を調節します(*プロジェクターイメージを調節する* ページ23を参照)。
3. サービスメニューにアクセスして、ランプ時間カウンターをリセットします(*ランプタイマーをリセットする* 次のページを参照)。
4. プロジェクターの警告電子メールとランプ警告が無効になっている場合には有効にします。(*電子メールによる警告送信* ページ65および*コントロールパネル* ページ61を参照)。

ランプタイマーをリセットする

ランプを元に戻してから、プロジェクターサービスメニューにアクセスし、ランプ時間カウンターをリセットする必要があります。予測不能なエラーを防止するために、本手順は、システム管理者だけが実行してください。

> **注記**
>
> ランプ交換リマインダは、経過した使用時間に基づくため、ランプ交換時には必ずランプ時間をリセットしてください。

ランプタイマーをリセットするには

1. リモートコントロールで下、上、上、左、上ボタンを押すと、サービスメニューに速やかにアクセスすることができます。

   > **注意**
   >
   > 本ガイドに記載のないサービスメニューの設定については調節しないでください。この注意を守らなかった場合、プロジェクターが操作できなくなる、あるいは、悪影響を及ぼす場合があり、保証対象外となります。

2. *ランプ時間リセット*フィールドにスクロールしてから、**OK**を押します。

   両方のランプ時間設定値(標準とエコ)が0にリセットされます。

   > **注意**
   >
   > ランプを交換した直後でなければ、ランプ時間リセット機能を使用しないでください。使い古したランプのランプ時間カウンターをリセットした場合、ランプ故障によりプロジェクターが破損します。

   > **注記**
   >
   > 表示時間数は、プロジェクターの合計使用時間です。したがって、リセットできません。

3. リモートコントロールの**メニュー**ボタンを押します。

   *SMART UF75 設定*メニューが表示されます。

4. ランプ時間が0にリセットされたことを確認し、を選択します。

章 6

トラブルシューティング インタラクティブホワイトボードシステム

本章では、インタラクティブホワイトボードシステムのトラブルシューティング情報について説明します。

本章に記載されていない問題については、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)までお問合せいただくか、あるいは、SMARTサポートホームページ(smarttech.com/support)でご確認ください。

画像の位置合わせに関する問題を修正する

投影画像が画面に対し垂直でない場合、位置合わせに問題が生じます。インタラクティブホワイトボードシステムを段差のある表面や障害物のある壁面に取り付けた場合、あるいは、プロジェクターの向きがインタラクティブホワイトボードの垂直中心線から離れた位置に移動した場合、この問題が発生します。

付属の*SMART Board X880i5/X885i5インタラクティブホワイトボード システムインストールガイド* (smarttech.com/kb/154548)の指示に従って、一般的な画像の位置合わせに関する問題を修正してください。

Diagnosing issues using the インタラクティブホワイトボードシステム indicators and controls

This section documents the indicators and controls of the インタラクティブホワイトボードシステム components.

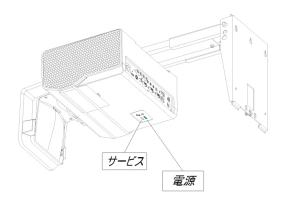
インタラクティブホワイトボードのインジケーターとコントローラー

SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボードには、以下のインジケーターおよびコントロールが含まれています。

- スタンバイランプ
- ペントレーボタン、インジケーターランプ、センサ
- コントローラーモジュールのリセットボタン

インジケーターとコントロールに関する詳細について、そして、一般的な問題を解決するには、*SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボード ユーザーズマニュアル* (smarttech.com/kb/144817)をご参照ください。

プロジェクターのランプおよびステータス

2つのインジケーターランプ(電源およびサービス)は、SMART UF75/UF75wプロジェクターの底面にあります。特定のライトシーケンスは、エラーなどのプロジェクターの状態に関する情報を伝えます。

重要

プロジェクターの問題を解決したら、プロジェクター電源ケーブルを一旦外してから再び接続して、インジケーターランプシーケンスを解除してからプロジェクターのステータスをリセットします(*プロジェクターをリセットする* ページ56を参照)。

電源ランプ	サービスライト	メッセージ
黄色の点灯	オフ	プロジェクターはオフですが、電源供給されています(スタンバイモード)。ECPの**電源**⏻ボタンを押してオンにします。
緑色の点滅	オフ	プロジェクターの電源ステータスは給電中の起動です。プロジェクターがオンになるまで待ちます。
緑色に点灯	オフ	プロジェクターの電源ステータスは操作中(オン)です。ECPの**電源**⏻ボタンを2度押してオフにします。
黄色の点滅	オフ	プロジェクターの電源ステータスは冷却中です。冷えるまで待ちます。
オフ	赤色の点滅	プロジェクターは過熱しています。自動的にシャットダウンします。 *メッセージ「プロジェクターの過熱」が表示されたとき* ページ47を参照の上、プロジェクターのトラブルシューティングを行ってください。
オフ	赤色に点灯	プロジェクターのファンに問題があります。自動的にシャットダウンします。 *メッセージ「ファン故障」が表示されたとき* ページ47を参照の上、プロジェクターのトラブルシューティングを行ってください。

電源ランプ	サービスライト	メッセージ
オフ	赤色に点灯	プロジェクターのカラー・ホイールに問題があります。 *メッセージ「カラーホイール故障」が表示されたとき* ページ48を参照の上、プロジェクターのトラブルシューティングを行ってください。
黄色の点灯	赤色の点滅	プロジェクターのランプに問題があります。 *メッセージ「ランプ故障」が表示されたとき* ページ48を参照の上、プロジェクターのトラブルシューティングを行ってください。
オフ	オフ	プロジェクターには電源が供給されていません。 *プロジェクターの電源ランプが点灯しないとき* ページ48を参照の上、プロジェクターのトラブルシューティングを行ってください。

ECPのランプおよびステータス

ECPの**電源**ボタンは、ステータスインジケーターランプの機能も果たします。

ECPステータスランプ	状態
オフ	プロジェクターには電源が供給されていません。プロジェクターがオンになっていること、そして、電源ケーブルが接続されていることを確認します。電源が入っており、アクティブ状態であることを確認します。プロジェクター側について、電源ケーブルとECPの4ピン電源ミニDIN接続を確認します。ECP側について、11ピンコネクタを確認します。コネクタと電源を確認した後も問題が解決しない場合には、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)までお問合せください。
黄色の点灯	プロジェクターには電源が供給されていますが、スタンバイモードです。
緑色の点滅	プロジェクターには電源が供給されており、オンになっています。
緑色に点灯	プロジェクターは、オンになっています。ECPは、電源供給されており、プロジェクターと通信可能です。
黄色の点滅	インタラクティブホワイトボードシステムはオフになります。

プロジェクターのエラー状態

システム管理者は、SMARTサポートにお問合せいただく前に、以下のプロジェクターのエラー状態について解決またはトラブルシューティングを実行してください。プロジェクターについて初期のトラブルシューティングを実行しておくことで、サポートコールにかかる時間が短縮されます。

プロジェクターがコマンドに応答しない

プロジェクターがコマンドに応答しない場合、あるいは、コマンドの入力後にコードを表示する場合には、以下の手順を実行してください。

応答しないプロジェクターを再起動するには

1. プロジェクターをスタンバイモードに入れて、15分間完全に冷えるのを待ちます。
2. 電源コンセントから電源ケーブルを外し、最低60秒間待ちます。
3. 電源ケーブルを接続してから、プロジェクターをオンにします。

メッセージ「プロジェクターの過熱」が表示されたとき

使用中にメッセージ「プロジェクターの過熱」が表示され、プロジェクターがスタンバイモードになった場合には、以下の問題のいずれかが発生しています。

- プロジェクターは、排気口がふさがっている、あるいは、内部温度が55°C(131°F)を超えたために、内部が過熱しています。
- プロジェクターの外部温度が高すぎます。

「プロジェクターの過熱」エラーを解消するには

1. プロジェクターをスタンバイモードに入れて、15分間完全に冷えるのを待ちます。
2. 室温が高い場合、できるだけ室温を下げてください。
3. プロジェクターの空気取り込み口と排気口がふさがっていないかを確認します。
4. 電源コンセントから電源ケーブルを外し、最低60秒間待ちます。
5. 電源ケーブルを接続してから、プロジェクターをオンにします。
6. 以上のステップで問題が解決できない場合には、電源ケーブルを外してから、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)にお問い合わせください。

メッセージ「ファン故障」が表示されたとき

使用中にメッセージ「ファン故障」が表示され、プロジェクターがスタンバイモードになった場合には、以下の問題のいずれかが発生しています。

- プロジェクター内部が過熱しています。
- ファンの1つが故障しています。

「ファン故障」エラーを解消するには

1. *「プロジェクターの過熱」エラーを解消するには* 上の手順1～5を実行します。
2. ランプが点灯しない場合、プロジェクターをスタンバイモードに入れて、15分間冷えるのを待ちます。
3. 電源ケーブルを外してから、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)にお問い合わせください。

メッセージ「カラーホイール故障」が表示されたとき
使用中にメッセージ「カラーホイール故障」が表示され、プロジェクターがスタンバイモードに入った場合には、カラーホイールに問題が発生しています。

「カラーホイール故障」エラーを解消するには

1. プロジェクターをスタンバイモードに入れて、15分間完全に冷えるのを待ちます。
2. 電源コンセントトから電源ケーブルを外し、最低60秒間待ちます。
3. 電源ケーブルを接続してから、プロジェクターをオンにします。
4. 以上のステップで問題が解決できない場合には、電源ケーブルを外してから、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)にお問い合わせください。

メッセージ「ランプ故障」が表示されたとき
使用中にメッセージ「ランプ故障」が表示され、ランプが消えた、あるいは、点灯しない場合には、以下の問題のいずれかが発生しています。

- おそらく排気口がふさがっていることが原因でランプが過熱しています。
- ランプの寿命が来ています。
- プロジェクター内部に問題があります。

「ランプ故障」エラーを解消するには

1. *「プロジェクターの過熱」エラーを解消するには* 前のページの手順1～5を実行します。
2. ランプが点灯しない場合、プロジェクターをスタンバイモードに入れて、15分間冷えるのを待ちます。
3. 電源ケーブルを外します。
4. *プロジェクターランプモジュールの取り外しおよび交換* ページ37の説明に従ってランプを交換してください。
5. このような対応にも関わらず、プロジェクターがオンにならない場合、あるいは、ランプエラーメッセージの表示が続く場合には、電源ケーブルを外してから、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)にお問い合わせください。

プロジェクターの電源ランプが点灯しないとき
プロジェクターの電源ランプが点灯しない場合には、以下の問題のいずれかが発生しています。

- 停電または電力サージが発生しました。
- 回路遮断器または安全スイッチが作動しました。

- プロジェクターが電源に接続されていません。
- プロジェクター内部に問題があります。

プロジェクターの電源ランプが点灯しない問題を解消するには

1. 電源をチェックしてから、すべてのケーブルが接続されていることを確認します。
2. プロジェクターが接続されている電源コンセントが有効であることを確認します。
3. コネクタのピンに破損しているものがないか、曲がっていないかなどを確認します。
4. リモート側の非表示機能が無効になっていることを確認します。*リモートコントロールボタンを使用する* ページ14をご参照ください。
5. 以上のステップで問題が解決できない場合には、電源ケーブルを外してから、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)にお問い合わせください。

ネットワーク通信問題を解決する

ネットワークにアクセスできない場合、以下の手順を実行してシステムのトラブルシューティングを行ってください。

ネットワーク通信問題を解決するには

1. ネットワークのRJ45ケーブルが、プロジェクターの接続パネルのモジュラケーブル接続口に適切に接続されていることを確認します。
2. プロジェクターのLAN警告ランプが緑色であることを確認します。LANを有効にするには、「vgaoutnetenable=on」RS-232コマンド(*プロジェクターのプログラミングコマンド* ページ69を参照)または「ネットワークとVGA出力」プロジェクターのメニューオプション(*ネットワークメニュー* ページ20を参照)使用します。以下の中から1つのコマンドが送信されるまで、プロジェクターのネットワーク機能は使用できません。
3. **メニュー**ボタンを押してから、**ネットワーク**設定メニューを選択してIPアドレスをチェックします。IPアドレスフィールドの説明については、*ネットワークメニュー* ページ20をご参照ください。このIPアドレスをお使いのブラウザまたはSNMPエージェントに入力します。
4. 以上を実行後もネットワークにアクセスできない場合には、ネットワーク管理者にお問い合わせください。管理者も問題を解決できない場合には、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)にお問い合わせください。

オーディオ問題を解決する

本プロジェクターはスピーカー内蔵ではありませんが、オーディオシステムをプロジェクター接続パネルのオーディオ出力コネクタに接続することができます。オーディオシステムからサウンドが出ない場合、以下

の手順を実行してください。

オーディオ問題を解決するには

1. プロジェクター接続パネルのオーディオ出力プラグに、スピーカーまたはオーディオシステムのケーブルが適切に接続されていることを確認します。
2. プロジェクターのリモートコントロールの**ミュート**を押して、オーディオミュートがオンのときは、オフにします。
3. ECPの音量ノブをチェックする、あるいは、プロジェクターリモートコントロールを使用して、音量が最低値に設定されていないことを確認します。
4. スピーカーまたはオーディオシステムがオンになっていること、そして、音が出る状態になっていることを確認します。
5. コンピューターやビデオデバイスなどの入力元について、機能不全になっていないか、オーディオ出力がオンなっているか、そして音量が最低値に設定されていないかをチェックしてください。
6. 以上のステップで問題が解決できない場合には、SMART認定代理店 (smarttech.com/wheretobuy)にお問い合わせください。

ビデオ問題を解決する

プロジェクターの画像がフリーズする場合、以下の手順を実行してください。

画像のフリーズを解決するには

1. ディスプレイの非表示機能がオフになっていることを確認します。ディスプレイの表示 / 非表示を切り替えるには、プロジェクターのリモートコントロールの非表示ボタンを押します。
2. DVDプレーヤーまたはコンピューターなどのソースデバイスが正常に機能していることを確認します。
3. プロジェクターをスタンバイモードに入れて、15分間完全に冷えるのを待ちます。
4. 電源コンセントトから電源ケーブルを外し、最低60秒間待ちます。
5. 電源ケーブルを接続してから、プロジェクターをオンにします。
6. 以上のステップで問題が解決できない場合には、SMART認定代理店 (smarttech.com/wheretobuy)にお問い合わせください。

画像問題を解決する

コンピューター、周辺デバイス、入力元、および、各々の接続ケーブルは、信号をSMART Boardインタラクティブホワイトボードシステムに送信するための設定が不適切です。*ビデオ形式の互換性* ページ29

をご参照の上、以下のセクションをこのような問題の解決のためご活用ください。

信号の損失

画像元の信号が失われる、あるいは、信号が異なるデバイスや入力に切り替えられている場合、プロジェクターには、ソース信号を表示する代わりに、青色の画面にSMARTロゴが表示されます。

信号の損失問題を解決するには

1. 約45秒画像が同期するのを待ちます。ビデオ信号によっては、同期時間が長くかかります。
2. 画像が同期しない場合、プロジェクターとECPのケーブル接続をチェックします。
3. 画像信号がプロジェクターと互換性があることを確認します(*ビデオ形式の互換性* ページ29を参照)。
4. プロジェクターにソース信号が表示されない場合には、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)にお問い合わせください。

画像が投影されない

プロジェクターにまったく画像が表示されず、ECP、インタラクティブホワイトボード、プロジェクターの電源ランプが点灯しない場合、以下の手順を実行してください。

投影画像の問題を解決するには

1. 電源ケーブルが電源コンセントに接続されていることを確認します。
2. 付属の*SMART Board X880i5/X885i5インタラクティブホワイトボードシステム インストールガイド* (smarttech.com/kb/154546)の説明に従って、ケーブルが正しく安全に接続されていることを確認してください。
3. 電源ケーブルおよびVGAコネクタピンが曲がったり、破損していないかチェックします。
4. プロジェクターランプがしっかり取り付けられていることを確認します。
5. プロジェクターがオンになっており、プロジェクターのステータスランプが点灯していることを確認します。ステータスランプが異常を示している場合には、*プロジェクターのランプおよびステータス* ページ45を参照の上、システムのトラブルシューティングを行ってください。

画像が部分的に表示される、スクロールする、正しく表示されない

注意

- 以下の手順は、Windows®95、Windows98、Windows2000、WindowsXPのOSシステムにのみ適用されます。
- この手順は、WindowsOSのバージョンとシステム環境設定によって異なります。

画像が部分的に表示される、スクロールする、正しく表示されない場合には

1. **スタート > コントロールパネル**を選択します。
2. **ディスプレイ**をダブルクリックします。

   *ディスプレイプロパティウィンドウ*が表示されます。
3. 設定をクリックします。
4. ディスプレイ解像度が1024 × 768 (SMART UF75プロジェクター)または1280 × 800 (SMART UF75wプロジェクター)以下であることを確認します。
5. 以上を実行後もプロジェクターに画像全体が表示されない場合には、以下の手順を実行してモニターディスプレイを変更してください。

モニターディスプレイを変更するには

1. **詳細な環境設定**をクリックします。
2. *モニタータブ*の**変更**をクリックします。
3. **すべて表示**をクリックし、リストから**標準のモニタータイプ**を選択します。
4. *モデルリスト*で希望の解像度を選択します。
5. モニターディスプレイの解像度が1024 × 768 (SMART UF75プロジェクター)または1280 × 800 (SMART UF75wプロジェクター)以下であることを確認します。

画像が不安定、あるいは、点滅する

プロジェクターの画像が不安定、あるいは、点滅する場合、入力元のトラッキング設定が違っています。

重要

以下の手順でいずれかの設定を調節する前に、設定値を書き留めておきます。

画像が不安定、あるいは、点滅する問題を解決するには

1. スクリーンディスプレイの**トラッキング**設定を調節します。*画像調節メニュー*ページ16をご参照ください。
2. コンピューターのトラッキング設定を変更します。詳細については、コンピューターの取扱説明書をご参照ください。
3. 必要に応じて、*プロジェクターをリセットする*ページ56の説明に従ってプロジェクターをリセットし、トラッキングを初期値に戻します。

> **重要**
>
> この手順により、すべての値がデフォルト値に戻ります。

画像に点滅する垂直線が表示される

プロジェクターに点滅する垂直線が表示される場合、入力元の周波数設定が違っています。

> **重要**
>
> 以下の手順でいずれかの設定を調節する前に、設定値を書き留めておきます。

点滅する垂直線の問題を解決するには

1. スクリーンディスプレイの**周波数**設定を調節します。*画像調節メニュー*ページ16をご参照ください。
2. コンピューターのグラフィックスカードのディスプレイモードをチェックします。プロジェクターの互換性信号フォーマットの1つに一致していることを確認してください (*ビデオ形式の互換性* ページ29を参照)。詳細については、コンピューターの取扱説明書をご参照ください。
3. コンピューターのグラフィックスカードのディスプレイモードを、プロジェクターとの互換性得られるように設定します。詳細については、コンピューターの取扱説明書をご参照ください。
4. 必要に応じて、*プロジェクターをリセットする*ページ56の説明に従ってプロジェクターをリセットし、周波数を初期値に戻します。

> **重要**
>
> この手順により、すべての値がデフォルト値に戻ります。

投影画像の位置がずれる

プロジェクターがたびたび移動されたり、重いドアの付近などの振動しやすい場所に設置されている場合、SMART UF75/UF75wプロジェクター画像がずれることがあります。以下の警告に従って、画像のずれ防止に役立ててください。

- 設置している壁面が垂直かつ正方形であること、そして、移動が多かったり、過度に振動することがないか確認します。
- プロジェクターの壁面取付用ブラケットの背後に障害物がないこと、そして、そのブラケットが設置指示書に従ってしっかりと壁に固定されていることを確認します。
- 投影画像を調節します。付属の*SMART Board X880i5/X885i5インタラクティブホワイトボードシステム インストールガイド* (smarttech.com/kb/154546) および*プロジェクターイメージを調節する* ページ23をご参照ください。

接続問題を解決する

下表は、インタラクティブホワイトボード、プロジェクター、ECPの接続に関する問題の解決方法です。

兆候	想定される原因	解決法
インタラクティブホワイトボードはタッチを認識しない。 ECPに電源供給されていない。 ペントレイのスタンバイランプが赤色。	プロジェクターの7ピンミニDINコネクタが緩んでいる、あるいは、外れている。 あるいは ECPの11ピンコネクタが緩んでいる、あるいは、外れている。	7ピンミニDINコネクタがプロジェクターに適切に接続されていること、そして、11ピンコネクタがECPに適切に接続されていることを確認します。 コネクタ、あるいはケーブルに損傷がないことを確認します。
インタラクティブホワイトボードはタッチを認識しない。 ECPのステータスランプが緑色。 ペントレイに電源供給されていない。	プロジェクターの4ピンミニDINコネクタが緩んでいる、あるいは、外れている。 あるいは ペントレイの電源コネクタが緩んでいる、あるいは、外されている。	4ピンミニDINコネクタがプロジェクターに適切に接続されていること、そして、電源コネクタがペントレイに適切に接続されていることを確認します。
インタラクティブホワイトボードはタッチを認識しない。 ECPのステータスランプが緑色。 ペントレイのスタンバイランプが赤色。	ECPのミニUSBコネクタが緩んでいる、あるいは、外れている。 あるいは コンピューターのミニUSBコネクタが緩んでいる、あるいは、外れている。 あるいは SMART製品ドライバーがインストールされていない、あるいは、実行されていない。	ミニUSBコネクタがECPに適切に接続されていること、そして、USBコネクタがコンピューターに適切に接続されていることを確認します。 SMART製品ドライバーがインストールされ実行されていることを確認します。

サービスメニューにアクセスする

注 意

- 故意または不注意による変更を防止するために、システム管理者以外がサービスメニューにアクセスしないようにしてください。インタラクティブホワイトボードシステムの一時ユーザには、サービスメニューへのアクセスコードを知らせないようにしてください。
- 本ガイドに記載のないサービスメニューの設定については調節しないでください。この注意を守らなかった場合、プロジェクターが操作できなくなる、あるいは、悪影響を及ぼす場合があり、保証対象外となります。

パスワードを確認する

プロジェクターのパスワードを忘れた場合には、プロジェクターから、あるいは、プロジェクターのウェブページのパスワード設定メニュー (*パスワードを設定* ページ66を参照)から、プロジェクターサービスメニューに直接アクセスして、パスワードを確認することができます。

サービスメニューからパスワードを検索するには

1. リモートコントロールで下、上、上、左、上ボタンを押すと、サービスメニューに速やかにアクセスすることができます。
2. *パスワード確認*フィールドにスクロールしてから、リモート制御で**Enter**を押します。

   パスワードが画面に表示されます。
3. パスワードを記録します。
4. *終了*フィールドにスクロールしてから、リモート制御で**Enter**を押して、プロジェクターサービスメニューを終了します。

プロジェクターをリセットする

トラブルシューティング時のいくつかのポイントでは、プロジェクターの全設定をリセットすることが必要な場合があります。

> **重要**
>
> なおリセットした場合、元に戻すことはできません。

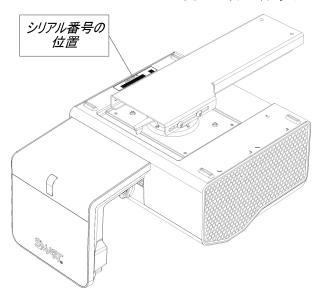
プロジェクターのすべての設定をリセットするには

1. リモートコントロールで下、上、上、左、上ボタンを押すと、サービスメニューに速やかにアクセスすることができます。
2. *工場出荷時リセット*フィールドにスクロールしてから、リモート制御で**Enter**を押します。
3. *終了*フィールドにスクロールしてから、リモート制御で**Enter**を押して、プロジェクターサービスメニューを終了します。

シリアル番号の記載位置を見つける

SMARTサポート (*カスタマサポート* ページ83を参照)へお問合せいただく前に、インタラクティブホワイトボード、プロジェクター、ECPのシリアル番号をメモしておいてください。

SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボード のシリアル番号の位置については、*SMART Board X800シリーズ インタラクティブホワイトボード ユーザーズマニュアル* (smarttech.com/kb/144817)をご参照ください。

SMART UF75/UF75wプロジェクターシリアル番号は、プロジェクターの上面にあります。

ECPシリアル番号は、ECPの底部にあります。

ヒント

プロジェクターのシリアル番号は、スクリーンメニューからも調べることができます。詳細については、*情報*メニュー ページ21をご参照ください。

輸送 インタラクティブホワイトボードシステム

SMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステムの納入時の梱包材は、インタラクティブホワイトボードシステムの輸送が必要なときに備えて、保管しておいてください。必要に応じて、できるだけ納入時の梱包材で梱包してください。納入時に使用される梱包材は、衝撃と振動を最適に保護するよう設計されています。納入時の梱包材を使用できない場合には、SMART認定代理店(smarttech.com/wheretobuy)から同じ梱包材を直接ご購入いただけます。

納入時のものではない梱包資材をご使用になる場合には、ユニットが十分保護されることを確かめてください。ユニットの上に重い物が載らないように、インタラクティブホワイトボードを立てた状態で輸送してください。

付録 A
リモート管理の方法 インタラクティブホワイトボードシステム

本付録には、コンピューターまたはルームコントロールシステムをセットアップして、RS-232シリアルインターフェース経由でSMART Board X800i5インタラクティブホワイトボードシステム設定をリモート管理する方法について、詳細な指示が含まれています。

ウェブページの管理

プロジェクターのウェブページからは、詳細設定機能にアクセスすることができます。このウェブページでは、イントラネットに接続されたコンピューターを使用して、リモートロケーションからプロジェクターを管理することができます。

> **注記**
>
> ウェブページにアクセスするには、ブラウザーがJavaScript™をサポートしなければなりません。Internet Explorer®やFirefox®などの一般的に使用されているブラウザーは、JavaScriptをサポートします。

ウェブページ管理にアクセスする

ウェブページにアクセスする前には、必ずプロジェクターにネットワークケーブルを接続してください(*SMART UF75/UF75wプロジェクター接続図* ページ23を参照)。ネットワークにプロジェクターを接続すると、スクリーンディスプレイにIPアドレスが表示されます。

> **注記**
>
> IPアドレスは、プロジェクターのネットワーク設定メニューページにアクセスすることでも確認できます(*ネットワーク設定* ページ64を参照)。

管理用ウェブページを使用するには

1. インターネットブラウザーを起動します。
2. アドレスラインフィールドにIPアドレスを入力して、ENTERを押します。

   SMART UF75プロジェクター設定 (または*SMART UF75wプロジェクター設定*)ウィンドウが表示されます。
3. 左側のペインにあるメニューオプションを選択して、各ページの設定を開きます。
4. コンピューターのキーボードで設定を選択する、あるいは、入力してから、**送信**を押す、あるいは、変更する各設定の隣にある**送信**以外のアクションボタンを押します。

ホーム

ホームメニューページには、基本的なプロジェクター情報が表示されます。また、スクリーンに表示される言語を選択することができます。

サブメニュー設定	内容
言語	言語オプションを表示する
プロジェクター情報	現在のプロジェクター情報を表示する

コントロールパネル

このメニューでは、インターネットブラウザーを使用して、プロジェクターのオーディオおよびビデオステータス、警告、外観を管理することができます。

サブメニュー設定	内容
電源	プロジェクターをオンにする、あるいは、スタンバイモードにします。**電源オン**または**電源オフ**ボタンを選択します。
すべてのプロジェクターデフォルトに戻します	プロジェクター設定をデフォルト値に戻す、あるいは、現在の設定をリフレッシュします。送信または**リフレッシュ**を選択します。 **重要** 送信は、元に戻せません。すべての値がリセットされます。
音量	プロジェクターの音量を-20～20の範囲で調節します。
ミュート	ミュート設定をオン / オフに切り替えます。**オン**を選択してプロジェクターの音声をミュートにし、**オフ**を選択してミュートを解除します。
音量制御	ECPの音量制御が表示されます。**オン**を選択して音量調節を有効にします。また、オーディオシステムまたはスピーカー(付属していない)を使用したい場合には、**オフ**を選択して音量調節を無効にします。
クローズドキャプション	クローズドキャプション機能をオン / オフに切り替えます。
言語	クローズドキャプションを**CC1** または**CC2**に設定します。 テレビチャネルまたはメディアのセットアップに応じて、**CC2**はフランス語またはスペイン語などの他の言語を表示し、**CC1**は英語の字幕を表示します。
ディスプレイモード	ディスプレイ出力を**SMARTプレゼンテーション**、**明るい部屋**、**暗い部屋**、**sRGB**、**ユーザー**のモードに調節することで、一貫したカラーパフォーマンスでさまざまなソースからの画像を投影することができます。 • **SMARTプレゼンテーション**は、色の再現性を求める場合に推奨されます。 • **明るい部屋**および**暗い部屋**は、その条件を備えた場所で推奨されます。 • **sRGB**は、標準化された的確な色を提供します。 • **ユーザー**は、独自の設定を適用させることができます。
輝度	プロジェクター輝度を0～100の範囲で調節します。
コントラスト	A画像を0(最も明るい)～100(最も暗い)の範囲で調節します。
周波数	投影画像のディスプレイデータ周波数を-5～5に調節して、コンピューターのグラフィックスカードの周波数と一致させます。
トラッキング	プロジェクターのディスプレイタイミングをコンピューターのグラフィックスカードと0～63の範囲で同期させます。
鮮明度	投影画像の彩度を0～31の範囲で調節します。
ホワイトピーク	鮮明なホワイトシェードを実現すると同時に、画像色の輝度を0～10の範囲で調節します。値が0に近づくほど、自然な画像を作成し、10に近づくほど輝度が増加します。

サブメニュー設定	内容
γ補正	ディスプレイのカラーパフォーマンスを0～3の範囲で調節します。
色	プロジェクター上の赤、緑、青、シアン、マジェンダ、黄の色を0～100の範囲で調節し、カスタムカラーと輝度出力を実現します。各色のデフォルト値は、100です。カラー設定への調節はユーザーモードに登録します。
自動信号検知	入力コネクタの信号検知を有効または無効にします。 • **オン**を選択して、アクティブなビデオソースを検知するまで、プロジェクターのスイッチ入力を継続します。 • **オフ**を選択して、1つの入力で信号検知を継続します。
ランプリマインダ	ランプ交換リマインダの表示は、**オン**を選択し、非表示は、**オフ**を選択します。このリマインダは、推奨するランプ交換時期の100時間前に表示されます。
ランプモード	ランプ輝度を**標準**または**エコノミー**に調節します。**標準モード**は、高品質の明るい画像を表示します。**エコノミーモード**は、画像の輝度を減少させてランプ寿命を延ばします。
自動電源**オフ**	自動電源オフのカウントダウンタイマーを1～240分の範囲で設定します。プロジェクターがビデオ信号を受信しなくなると、タイマーのカウントダウンを開始します。プロジェクターがスタンバイモードに入ると、タイマーは終了します。0を選択するとタイマーはオフになります。
ズーム	画像の中央に向かうズームを0～30の範囲で調節します。
Hポジション(RGB入力)	投影画像の水平位置を左右に0～100の範囲で移動させます。
Vポジション(RGB入力)	投影画像の垂直位置を上下に-5～5の範囲で移動させます。
アスペクト比	画像出力を**全画面**、**マッチ**入力、**16:9**に調節します。 • **全画面**は、ストレッチングとスケーリングで画像を全画面に表示します。 • **マッチ**入力は、入力の縦横比にプロジェクターの縦横比を一致させます。結果として、画面の上下の水平方向(レターボックスフォーマット)または左右の垂直方向(ピラーボックスフォーマット)に黒の帯が表示されます。 • **16:9**では、出力が16:10に変更され、画像はレターボックスフォーマットになります。これは、横長テレビのHDTVおよびDVDでの使用に推奨されています。 **注記** 各モードの外観に関する説明については、*ビデオ形式の互換性* ページ29をご参照ください。
起動画面	起動画面のタイプを**SMART**または**ユーザー**に設定します。**SMART**画面は、青色の背景にデフォルトのSMARTロゴです。**ユーザー**画面は、ユーザ起動画面のキャプチャ機能で保存した画像を使用します。
ビデオミュート	ビデオのミュート設定をオン / オフに切り替えます。**オン**を選択してディスプレイを非表示にし、**オフ**を選択して再び表示します。

サブメニュー設定	内容
高速ファン	プロジェクターのファンの速度を調節します。**高速**または**通常**を選択します。 **注記** プロジェクターが高温のとき、あるいは、標高1829 m以上の場所では、高速を使用します。
プロジェクターモード	投影モードを正面、天井、後方、後方天井に調節します。 **重要** SMART天井投影モードからこの設定を変更しないことを推奨します。
ソース	入力ソース(**VGA1**、**VGA2**、**コンポジット**、**Sビデオ**、**HDMI**)に調節します。
VGA1	VGA1入力に代替えの名前を割り当てます。それは、VGA1入力の選択時に表示されます。
VGA2	VGA2入力に代替えの名前を割り当てます。それは、VGA2入力の選択時に表示されます。
Sビデオ	Sビデオ入力に代替えの名前を割り当てます。それは、Sビデオ入力の選択時に表示されます。
コンポジット	コンポジットビデオ入力に代替えの名前を割り当てます。それは、コンポジットビデオ入力の選択時に表示されます。
HDMI	HDMI入力に代替えの名前を割り当てます。それは、HDMI入力の選択時に表示されます。
緊急時の警告	警告メッセージの画面表示をオンまたはオフにします。有効にした場合、警告のメッセージが現在の投影画像上に表示されます。
アラームメッセージ	緊急時通報メッセージ(最長60文字)を画面に表示します。

コントロールパネルII

3D設定

このメニューでは、3D画像の表示 / 非表示、および、そのフォーマットの設定を行います。

サブメニュー設定	内容
3Dのオン/オフ	3D機能をオン / オフに切り替えます。
3D反転	3D反転の設定(**L-R**または**R-L**)を選択します。 • **L-R**は、左目用の画像データを先に表示します。 • **R-L**は、右目用の画像データを先に表示します。
3Dフォーマット	3Dフォーマット(**インターリーブ**または**オーバーアンダー**を選択します。 • **インターリーブ**は、それぞれの目に対する画像フレームを細分化し、各フレームからの画像情報のラインを交互に表示します。 • **アンダーオーバー**は、左右の目にそれぞれに画像フレームを水平方向に引き伸ばし、一方をもう片方の上に同時に表示します。

USBコントロールの設定

本メニューでは、ECPの2つのUSBコネクタ用にビデオソースを設定することができます。

サブメニュー設定	内容
USB1ソース	ECPのルームコンピューターのUSBコネクタ(USB1)にビデオソースを関連付けて選択したビデオソース(**VGA1**、**VGA2**、**HDMI**、無効)へのタッチを有効にします。
USB2ソース	ECPのラップトップのUSBコネクタ(USB2)にビデオソースを関連付けて選択したビデオソース(**VGA1**、**VGA2**、**HDMI**、無効)へのタッチを有効にします。

ネットワーク設定

このメニューでは、DHCP(ダイナミックホストコントロールプロトコル)を有効または無効にしたり、ネットワーク関連のアドレスおよび名前を設定することができます。

サブメニュー設定	内容
DHCP	ネットワークのDHCPをオン / オフにします。 • **オン**は、自動でDHCPサーバーのIPアドレスをプロジェクターに割り当てます。 • **オフ**は、IPアドレスを手動で割り当てることができるようにします。
IP アドレス	プロジェクターのIPアドレスを0.0.0.0～255.255.255.255の範囲で表示します。
サブネットマスク	プロジェクターのサブネットワークマスク番号を0.0.0.0～255.255.255.255の範囲で表示します。
ゲートウェイ	プロジェクターのデフォルトネットワークゲートウエイを0.0.0.0～255.255.255.255の範囲で表示します。
DNS	プロジェクターのプライマリドメインネーム番号を0.0.0.0～255.255.255.255の範囲で表示します。
グループ名	プロジェクターのワークグループ名(最長12文字)を表示します。
プロジェクター名	プロジェクター名(最長12文字)を表示します。
場所	プロジェクターの場所を表示します。(最長16文字)
問合せ窓口	プロジェクターのサポート担当者名または電話番号を表示します(最長16文字)。
SNMP	SNMPのMIB機能をオン / オフに切り替えます。
読み取り専用コミュニティ	このオプションは、デバイスへのアクセスを可能にするパスワードを各SNMPのGetRequestと一緒に送信します。 **注記** 読み取り専用のコミュニティ用デフォルトは、パブリックです。

サブメニュー設定	内容
読み取り/編集コミュニティ	このオプションは、デバイスへのアクセスを可能にするパスワードを各SNMPのSetRequestと一緒に送信します。 **注記** 読み取り専用コミュニティ用のデフォルトは、プライベートです。
トラップ送り先アドレス	プロジェクターのトラップ送り先IPアドレスを0.0.0.0～255.255.255.255の範囲で表示します。トラップ送り先アドレスは、電源オフ、電源オン、その他の問題など、プロジェクターのラップイベントによって生成された未承諾のデータを処理するために割り当てられたコンピューターのIPアドレスです。

電子メールによる警告送信

このメニューでは、電子メールによる警告の受信アドレスを入力したり、関連する設定を調節します。

サブメニュー設定	内容
電子メールによる警告送信	電子メールによる警告送信を**有効**を選択してオンにする、あるいは、**無効**を選択してオフにします。
宛先	電子メールによる警告の受信用メールアドレスを指定します。
CC	電子メールによる警告のコピーを受信するメールアドレスを指定します。
差出人	電子メールによる警告を発信するユーザのメールアドレスを指定します。
件名	電子メールによる警告の件名を表示します。
送信SMTPサーバー	SMTPサーバーを指定します。
ユーザー名	SMTPユーザー名を指定します。
パスワード	SMTPサーバーパスワードを指定します。
警告の重要度	**ランプ警告**、**ランプ寿命終了間近**、**温度警告**、**ファンロック**の状態が発生したときに電子メールを送信します。希望の設定を選択してから、**送信**を押します。 **注記** プロジェクターは、電子メールによる警告(SMART警告)をあなたのメールアドレスに送信します。**電子メール警告テスト**を押して、あなたの電子メールアドレスにテスト・メールが送信されることを確認します(SMART警告テストメール)。

パスワードを設定

このメニューには、管理者がプロジェクター使用を管理し、管理者パスワード機能を有効にするセキュリティ機能があります。

サブメニュー設定	内容
パスワード	有効ボタンを押して、パスワードを入力すると、初めてウェブ管理にアクセスします。パスワード機能を有効にした場合、ウェブ管理へのアクセスには管理者パスワードが必要になります。無効を選択してパスワードを使わずにプロジェクターをオンにします。

注意

- 初めてパスワード設定を使用するときは、パスワードのデフォルト値は4つの数字(例えば1234)です。
- 利用可能なパスワードは、4文字までの英数字です。
- プロジェクターのパスワードを忘れた場合には、*サービスメニューにアクセスする* ページ55をご参照ください。

ルームコントロールシステムをECPに接続する

コンピューターまたはルームコントロールシステムをECPの4ピンコネクタに接続することで、ビデオ入力を選択したり、インタラクティブホワイトボードシステムを起動または停止する、プロジェクターランプの使用状況、現在の設定、ネットワークアドレスなどの情報をリクエストすることができます。

シリアルインターフェースの設定

SMART UF75/UF75wプロジェクターのシリアルインターフェースは、データ通信設備(DCE)デバイスとして機能し、その設定は変更できません。コンピューターのシリアル通信プログラム(Microsoft®ハイパーターミナルなど)とルームコントロールシステムのシリアル通信設定には、必ず以下の値を使用してください。

設定	値
データレート	19.2 kbps
データビット	8
パリティー	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

注意

- 非同期モードは、プロジェクター内のデフォルトで無効になります。
- すべてのコマンドはASCIIフォーマットでなければなりません。すべてのコマンドはキャリッジリターンで終了します。
- プロジェクターからの応答のすべては、コマンドプロンプトで終了します。次に進む前にシステムが別のコマンドの準備完了を示すコマンドプロンプトが表示されるまで、待ってください。
- プロジェクターのルームコントロール機能は常にオンの状態です。

コンピューターのシリアルインターフェースを設定するには

1. コンピューターをオンにしてから、シリアル通信プログラムまたはターミナルエミュレーションプログラムを起動します。
2. コンピューターを前回ECPに接続したシリアル接続ケーブルに接続します。
3. 前セクションの表の値を使用して、シリアルインターフェースを設定してから、ENTERを押します。

   「ヘルプ用のinvalid cmd= ?」メッセージが表示され、次の行にコマンドプロンプトに”>” 文字が表示されます。

   注記

   メッセージまたはエラーメッセージが表示されない場合、シリアルインターフェースの設定が適正ではありません。ステップ3を繰り返します。

4. コマンドを入力して設定します。

   注意

   - 利用可能なコマンドのリストを確認するには、**?**を入力してからENTERを押します。
   - ターミナルエミュレーションプログラムを使用する場合には、プログラムのローカルエコー設定をオンにして入力時の文字を確認します。

プロジェクターのプログラミングコマンド

本セクションでは、プロジェクターのプログラミングコマンドについて説明します。

プロジェクターの電源ステータスコントロール

SMART UF75/UF75wプロジェクター一定の電源レベルと時間に限定して、コマンドに応答します。

プロジェクターの電源ステータスは5つに分かれます。

- 給電中(起動)
- オン(操作中)
- 冷却中
- オフを確認
- アイドル(スタンバイモード)

コマンドインベントリ

SMART UF75/UF75wプロジェクター次ページの表内のコマンドに対応します。プロジェクターの現在の電源状態に有効なコマンド・リストを確認するには、?を入力してENTERを押します。

注意

- プロジェクターがコマンドプロンプトを表示後にのみコマンドを打ちます。
- コマンドは、大文字小文字を区別しません。コマンドは、表の左欄に記載されている通りに正確に入力してください。中央の欄には正常な値または設定があります。
- コマンドの入力前にはエントリーを慎重に確認してください。
- 各コマンドを入力したらENTERを押します。
- プロジェクターがコマンドを実行後、応答します。
- バッファーのオーバーランを防止するために、次のコマンドプロンプトが表示されるまで、別のコマンドを打たないでください。

値ベースのコマンドメソッド

絶対値および調節値

コマンド目標範囲内で、コマンドの絶対値を設定するか、あるいは、現在値を調節します。調節コマンドを作成するには、入力したい変更値の前に、等号(=)の代わりにプラス(+)または(-)シンボルを入力します。

入力する絶対値はすべて、コマンド目標範囲内であること。また、調節値はすべて、コマンド目標範囲内の数値と等しいことが条件です。

プロジェクター輝度の調節については、次の例をご参照ください。

```
>get brightness
brightness=55
```

```
>set brightness=65
brightness=65
```

```
>set brightness+5
brightness=70
```

```
>set brightness-15
brightness=55
```

ビデオソースの指定値

*ソース選択コントロール*次のページの説明に従ってソース入力フィールドにコマンドを使用して、アクティブソース以外のソースに絶対値または調節値を設定することができます。選択されたソースが非アクティブの状態で実行可能です。必ず、ソースデバイスを接続してください。未接続の場合にはコマンド無効が返されます。

HDMIコネクタおよびVGA1入力の両方が接続された場合、次の例をご参照ください。

```
>set input hdmi
input=hdmi
```

```
>set brightness vga1=65
brightness vga1=65
```

```
>set brightness vga1-7
brightness vga1=58
```

電源ステータスコントロール

以下のコマンドは、プロジェクターをスタンバイモードに入れる / 解除する、そして、プロジェクターの現在の電源ステータスを要求します。プロジェクターの電源ステータスは、そのときに特定のコマンドが利用可能かどうかを明確にします。これらの設定は、プロジェクターがスタンバイモードの場合にも、利用することができます。

コマンド	応答
オン	powerstate=[フィールド]
オフ	powerstate=[フィールド]
今すぐオフ	powerstate=[フィールド]
電源ステータスを取得	powerstate=[フィールド]

下表は、電源ステータスに関する説明です。

コマンド	内容
オン	プロジェクターをオンにします。
オフ	シャットダウン手順を開始します。 電源ボタンを押してプロジェクターをオフにしてください。」メッセージのダイアログボックスが表示されます。10秒以内に2回目の**オフ**コマンドを送信して、プロジェクターをスタンバイモードに入れます。
今すぐオフ	プロジェクターを直ちにシャットダウンします。このコマンドは、遅延またはキャンセルができません。
電源ステータスを取得	プロジェクターの現在の電源ステータスを表示します。

下表は、電源ステータスフィールドに関する説明です。

フィールド	内容
電源供給	プロジェクターはオンになりました。
オン	プロジェクターはオンです。
冷却中	プロジェクターは冷却中です。
オフを確認	**オフ確認**は、2ボタン**オフ**シーケンスのステージ中に返される非選択の電源ステータスです。
アイドル	プロジェクターはオフですが、電源供給されています(スタンバイモード)。

ソース選択コントロール

以下のコマンドにより入力元を切り替えます。ソースの種類により、受け付けるコマンドが決まります。

コマンド	応答	スタンバイモードのときに利用可能
入力を取得	input=[フィールド]	Yes
set input [field]	input=[フィールド]	No

下表は、ソース選択コマンドに関する説明です。

コマンド	内容
入力を取得	プロジェクターの現在の入力を返します。
set input [field]	選択可能なフィールドの1つに入力を返します。

下表は、ソース選択応答フィールドに関する説明です。

フィールド	内容
VGA1	ソースをVGA 1入力コネクタに切り替えます。
VGA2	ソースをVGA 2入力コネクタに切り替えます。
コンポジット	ソースをコンポジットビデオコネクタに切り替えます。指示に従ってインタラクティブホワイトボードシステムをインストールした場合、これはECPからのリレーです。
Sビデオ	ソースをSビデオ入力コネクタに切り替えます。
HDMI	ソースをHDMI入力ポートに切り替えます。
なし	プロジェクターがスタンバイモードのときに「get input」コマンドを入力した場合に表示される選択不可の値。

一般的なソース制御

以下のソース制御は、すべての入力ソースに適用されます。HDMIコネクタのソース制御は、本セクションでそのすべてについて説明します。プロジェクターがスタンバイモードのときには、以下のコントロールは利用できません。すべての入力に対してカスタムカラーの値を指定できます。

以下のコマンドは、現在のソース設定を通知します。

コマンド	応答
ディスプレイモードを取得	displaymode=[現在のディスプレイモード設定]
輝度を取得	brightness=[現在の輝度設定]
コントラストを取得	contrast=[現在のコントラスト設定]
白ピーキングを取得	whitepeaking=[現在のホワイトピーキング設定]
DeGammaを取得	degamma=[現在のdegamma設定]
赤色の設定値を取得	red=[現在の赤色の設定値]
緑色の設定値を取得	green=[現在の緑色の設定値]
青色の設定値を取得	blue=[現在の青色の設定値]
シアンの設定値を取得	cyan=[現在のシアンの設定値]
マジェンタの設定値を取得	magenta=[現在のマジェンタの設定値]
イエローの設定値を取得	yellow=[現在のイエローの設定値]
VideoFreezeを取得	videofreeze=[現在のビデオフリーズ設定]

これらのコマンドは、ソースの外観を制御します。これらの設定は、プロジェクターがスタンバイモードのとき、あるいは、ソースが外されている場合には、利用することはできません。絶対コマンドと調節コマンドを設定する場合には、*値ベースのコマンドメソッド* ページ69をご参照ください。

コマンド	コマンドターゲット変動幅	応答
ディスプレイモードの設定[ターゲット]	=SMARTプレゼンテーション =明るい部屋 =暗い部屋 =sRGB =ユーザー	ディスプレイモード=[ターゲット]
輝度の設定[値]	=0 ～ =100	輝度=[値]
コントラストの設定[値]	=0 ～ =100	コントラスト=[値]
ホワイトピーキングの設定[値]	=0 ～ =10	ホワイトピーキング=[値]
degammaの設定[値]	=0 ～ =3	degamma=[値]
赤色の設定[値]	=0 ～ =100	赤色=[値]
緑色の設定[値]	=0 ～ =100	緑色=[値]
青色の設定[値]	=0 ～ =100	青色=[値]
シアンの設定[値]	=0 ～ =100	シアン=[値]
マジェンタの設定[値]	=0 ～ =100	マジェンタ=[値]
イエローの設定[値]	=0 ～ =100	イエロー=[値]
ビデオフリーズの設定[ターゲット]	=オン =オフ	ビデオフリーズ=[ターゲット]

補助的なVGAソース制御

VGA ソースは、*一般的なソース制御* 前のページに記載されたすべての一般ソース制御に加えて、このセクションで取り上げるコマンドもサポートします。これらの設定は、プロジェクターがスタンバイモードのとき、あるいは、VGAソースが外されている場合には、利用することはできません。

注記

これらのコマンドの一部は、HDMI入力およびコンポジットビデオソースでは無効であり、応答時には「invalidcmd=[command]」を返します。

これらのコマンドは、現在のコンポジットビデオソース設定を通知します。

コマンド	応答
周波数を取得	周波数=[現在の周波数設定]
トラッキングを取得	トラッキング=[現在のトラッキング設定]
彩度を取得	彩度=[現在の彩度設定]
ティントを取得	ティント=[現在のティント設定]
鮮明度を取得	鮮明度=[現在の鮮明度設定]

これらのコマンドは、VGAソースの外観の調整に使用します。これらの設定は、プロジェクターがスタンバイモードのとき、あるいは、VGAソースが外されている場合には、利用することはできません。絶対コマンドと調節コマンドを設定する場合には、*値ベースのコマンドメソッド* ページ69をご参照ください。

コマンド	コマンドターゲット変動幅	応答
周波数の設定[値]	=-5 ～ =5	周波数=[値]
トラッキングの設定[値]	=0 ～ =31	トラッキング=[値]
彩度の設定[値]	=0 ～ =100	彩度=[値]
ティントの設定[値]	=0 ～ =100	ティント=[値]
鮮明度の設定[値]	=0 ～ =31	鮮明度=[値]

補助的なコンポジットビデオソース制御

コンポジットビデオソースは、前述のすべての一般ソース制御に加えて、このセクションで取り上げるコマンドもサポートします。これらの設定は、プロジェクターがスタンバイモードのとき、あるいは、コンポジットビデオソースが外されている場合には、利用することはできません。

注記

これらのコマンドの一部は、HDMI入力およびVGAビデオソースでは無効であり、応答時には「invalidcmd=[command]」を返します。

これらのコマンドは、現在のコンポジットビデオソース設定を通知します。

コマンド	応答
彩度を取得	彩度=[現在の彩度設定]
ティントを取得	ティント=[現在のティント設定]
鮮明度を取得	鮮明度=[現在の鮮明度設定]

これらのコマンドは、コンポジットビデオソースの外観の調整に使用します。絶対コマンドと調節コマンドを設定する場合には、*値ベースのコマンドメソッド* ページ69をご参照ください。

コマンド	コマンドターゲット変動幅	応答
彩度の設定[値]	=0 ～ =100	彩度=[値]
ティントの設定[値]	=0 ～ =100	ティント=[値]
鮮明度の設定[値]	=0 ～ =31	鮮明度=[値]

オーディオ出力の制御

これらのコマンドは、オーディオシステム(付属なし)に対するプロジェクターのオーディオ出力をコントロールします。オーディオ出力コントロールは、ビデオソースによって定義されていません。これらの設定は、プロジェクターがスタンバイモードの場合には、利用することはできません。

これらのコマンドは、現在のオーディオ出力設定を通知します。

コマンド	応答
音量を取得	音量=[現在の音量設定]
ミュートにする	ミュート=[現在のミュート設定]
音量コントロール	音量コントロール=[現在の音量コントロール設定]
ccを取得	cc=[現在のクローズドキャプションの言語設定]

これらのコマンドはオーディオ出力設定をコントロールします。絶対コマンドと調節コマンドを設定する場合には、*値ベースのコマンドメソッド* ページ69をご参照ください。

コマンド	コマンドターゲット変動幅	応答
音量の設定[値]	=-20 ～ =20	音量=[値]
ミュート設定[ターゲット]	=オン =オフ	ミュート[ターゲット]
音量コントロールの設定[ターゲット]	=オン =オフ	音量コントロール=[ターゲット]
ccの設定[ターゲット]	=cc1 =cc2 =オフ	cc=[ターゲット]

注記

テレビチャネルまたはメディアのセットアップに応じて、cc2はフランス語またはスペイン語などの言語を表示し、cc1は英語の字幕を表示します。

ネットワークコントロール

以下のコマンドは、プロジェクターのネットワークステータスおよび設定を制御するものです。これらの設定は、プロジェクターがスタンバイモードの場合にも、利用することができます。ネットワーク機能を使用するためにOSDで、ネットワークおよびVGA出力コマンドをローカルでオンに設定しなければなりません。

以下のコマンドは、現在のネットワーク設定を通知します。

コマンド	応答
ネットステータスを取得	netstatus=connected netstatus=disconnected netstatus=disabled
dhcpを取得	dhcp=[現在のDHCPステータス]
ipaddrを取得	ipaddr=[現在のIPアドレス]
サブネットマスクを取得	subnetmask=[現在のサブネットワークマスク番号]
ゲートウェイを取得手	gateway=[現在のネットワークゲートウェイ]
プライマリdnsを取得	primarydns=[現在のプライマリドメイン名番号]
macaddrを取得	ipaddr=[現在のMACアドレス]

これらのコマンドはネットワーク設定を制御します。

コマンド	コマンドターゲット変動幅	応答
dhcpの設定[ターゲット]	=オン =オフ	dhcp=[現在]
ipaddrの設定[ターゲット]	=0.0.0.0 ～ =255.255.255.255	ipaddr=[現在]
サブネットマスクの設定[ターゲット]	=0.0.0.0 ～ =255.255.255.255	subnetmask=[現在]
ゲートウェイの設定[ターゲット]	=0.0.0.0 ～ =255.255.255.255	ゲートウェイ=[現在]
プライマリdnsの設定[ターゲット]	=0.0.0.0 ～ =255.255.255.255	primarydns=[現在]

システムコントロール

以下のコマンドを使用して、システム設定およびアクセスシステム情報を切り替えることができます。

以下のコマンドは、現在のシステム設定を通知します。プロジェクターがスタンバイモードのときには、以下のコマンドは利用できません。

コマンド	応答
自動信号を取得	autosignal=[現在の自動信号検知の設定]
ランプ交換リマインダを取得	lampreminder=[現在のランプ交換リマインダの設定]
高輝度を取得	highbrightness=[現在のランプ輝度の設定]
自動電源オフを取得	autopoweroff=[現在の自動電源オフの設定]
ズームを選択	zoom=[現在のズーム設定]
プロジェクターIDを取得	projectorid=[現在のプロジェクターID番号]
水平位置を取得	hposition=[現在の水平位置の設定]
垂直位置を取得	vposition=[現在の垂直位置の設定]
縦横比を取得	aspectratio=[現在のプロジェクターの縦横比]
投影モードを取得	projectionmode=[現在の投影モード]
起動画面を取得	startupscreen=[現在の起動画面の設定]
解像度を取得	resolution=[現在の入力解像度]
言語を選択	language=[現在の言語設定]
グループ名を取得	groupname=[現在のグループ名]
プロジェクター名を取得	projectorname=[現在のプロジェクター名]
位置情報を取得	locationinfo=[現在のプロジェクターの位置]
お問合せ情報を取得	contactinfo=[現在のサポート窓口の情報]
モデル番号を取得	modelnum=[現在のモデル番号]
ビデオミュートを取得	videomute=[現在のビデオミュートの設定]
3Dの有効化	3denable=[現在の3D機能の設定]
3D反転を選択	3dinvert=[現在の3D反転の設定]
3Dフォーマットを選択	3dformat=[現在の3Dフォーマット]
緊急警告メッセージの選択	emergencyalertmsg=[現在の緊急警告メッセージ]
緊急警告を選択	emergencyalert=[現在の緊急警告の設定]

以下のコマンドは、現在のシステム設定を通知します。プロジェクターがスタンバイモードのときにも、以下のコマンドを利用できます。

コマンド	応答
ランプ時間を取得	lamphrs=[現在のランプ操作時間]
システム時間を取得	syshrs=[現在のプロジェクター操作時間]
ファームウェアバージョンを取得	fwverddp=[現在のプロジェクターファームウェアバージョン]
ネットワークファームウェアバージョンを取得	fwvernet=[現在のネットワークファームウェアバージョン]
プロセッサーファームウェアバージョンを取得	fwvermpu=現在のプロセッサーファームウェアバージョン]
ECPファームウェアバージョンを取得	fwverecp=[現在のECPファームウェアバージョン]
vgaoutnetenableを取得	vgaoutnetenable=[現在]

以下のコマンドは、現在のシステム設定を制御します。プロジェクターがスタンバイモードのときには、以下のコマンドは利用できません。絶対コマンドと調節コマンドを設定する場合には、*値ベースのコマンドメソッド* ページ69をご参照ください。

コマンド	コマンドターゲット変動幅	応答
自動信号の設定[ターゲット]	=オン =オフ	autosignal=[ターゲット]
ランプ時間リマインダの設定[ターゲット]	=オン =オフ	lampreminder=[ターゲット]
高輝度の設定[ターゲット]	=オン =オフ	highbrightness=[ターゲット]
自動電源オフの設定[値]	=0 ～ =240	autopoweroff=[値]
ズームの設定[値]	=0 ～ =30	zoom=[値]
プロジェクターIDの設定[値]	=0 ～ =99	projectorid=[値]
水平位置の設定[値]	=0 ～ =100	hposition=[値]
垂直位置の設定[値]	=-5 ～ =5	vposition=[値]
縦横比の設定[ターゲット]	=全体 =合致 =16:9	aspectratio=[ターゲット]
投影モードの設定[ターゲット]	=フロント =天井 =リア =リア天井	projectionmode=[ターゲット]
起動画面の設定[ターゲット]	=smart =ユーザーのキャプチャ =プレビュー	startupscreen=[ターゲット]

コマンド	コマンドターゲット変動幅	応答
言語の設定[ターゲット]	=ポルトガル語 (ブラジル) =チェコ語 =デンマーク語 =オランダ語 =英語 =フィンランド語 =フランス語 =ドイツ語 =ギリシア語 =ポルトガル語 (イベリア) =イタリア語 =韓国語 =日本語 =ノルウェー語 =ポーランド語 =ロシア語 =簡体字中国語 =スペイン語 =スウェーデン語 =繁体字中国語	言語=[ターゲット]
グループ名の設定 [名称]	12文字以内の名称を入力します。	groupname=[名称]
プロジェクト名の設定 [名称]	12文字以内の名称を入力します。	projectorname=[名称]
位置情報の設定 [名称]	16文字以内の名称を入力します。	locationinfo=[名称]
お問合せ情報の設定 [名称]	16文字以内の名称を入力します。	contactinfo=[名称]
ビデオミュートの設定[ターゲット]	=オン =オフ	videomute=[ターゲット]
3Dの有効化[ターゲット]	=オン =オフ	3denable=[ターゲット]
3D反転の設定[ターゲット]	=左右 =右左	3dinvert=[ターゲット]
3Dフォーマットの設定[ターゲット]	=interleaved =overunder	3dformat=[ターゲット]
緊急警告メッセージの設定 [名称]	60文字以内の名称を入力します。	emergencyalertmsg=[名称]
緊急警告の設定[ターゲット]	=オン =オフ	emergencyalert=[ターゲット]

以下のコマンドは、現在のシステム設定を制御します。プロジェクターがスタンバイモードのときにも、以下のコマンドを利用できます。

コマンド	コマンドターゲット変動幅	応答
デフォルト回復の設定	[なし]	restoredefaults=実行済み
ランプ時間の設定[ターゲット]	=0	lamphrs=0
vgaoutnetenableの設定[ターゲット]	=オン =オフ	vgaoutnetenable=[ターゲット]

注記

VGA Outおよびネットワーク設定機能は、デフォルトではオフになっています。**オン**を選択して、この機能を有効にします。

シンプル ネットワーク マネージメント プロトコル (SNMP)

SMART UF75/UF75wプロジェクターは、管理情報ベース(MIB)ファイルの記載に従ってSNMPコマンドのリストをサポートします。このファイルは、smarttech.com/softwareを参照し、SMART UF75/UF75wプロジェクター用ハードウェアセクションのMIBファイルをクリックして、ダウンロードします。

SNMPエージェントは、SNMPバージョン1をサポートします。MIBファイルをSNMPマネージメント システム アプリケーションにアップロードしてから、アプリケーションのユーザーズマニュアルの記載に従って使用します。

付録 B
ハードウェア環境コンプライアンス

SMART Technologies は、安全かつ環境にやさしい方法で電子機器の製造、販売、廃棄を実現するために、グローバルな取り組みを支持しています。

廃電気・電子機器に関する欧州連合の指令 (WEEE Directive; ダブルトリプルイー指令)

廃電気・電子製品に関する欧州連合の指令は、欧州連合内で販売されたすべての電気・電子機器に適用されます。

SMART Technologies製品を含む、あらゆる電気・電子機器を廃棄する場合には、耐久寿命に達した電子機器の適切なリサイクルを強くお願いしています。詳細情報およびリサイクル機関の連絡先については、認定代理店またはSMART Technologiesまでお問い合わせください。

Restriction of Certain Hazardous Substances; 電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限 (RoHS Directive; RoHS指令)

本製品は、欧州連合のRestriction of Certain Hazardous Substances; 電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限 (RoHS)に関する指令2002/95/ECの条項に適合するものです。

したがって、本製品は、各地で取り上げられ、欧州連合のRoHS指令を基準とするその他規制にも準拠します。

バッテリー

バッテリーは、多数の国で規制対象になっています。使用済みバッテリーの再利用方法については、販売代理店にご確認ください。

リチウムイオン電池を含む製品、または、リチウムイオン電池の配送時には、順守すべき特別な規制があります。リチウムイオン電池を含むSMART Technologies製品またはリチウムイオン電池を返送する場合には、SMART Technologiesに特別配送規制についてお問合せください。お問合せ先：

- 1.866.518.6791、オプション4 (米国/カナダ)
- 1.403.228.5940 (その他の国)

梱包

多くの国々において、製品の梱包材に一定の重金属の使用を制限する規制があります。製品の出荷用にSMART Technologiesが使用する梱包材は、該当するパッケージングに関する法律に準じています。

中国の電子情報製品規制

中国は、EIP(Electronic Information Products；電子情報製品)として分類される製品を規制しています。SMART Technologies 製品は、この分類に入り、中国電子情報製品規制の条件に準拠しています。

米国*消費材安全性改善法*

米国では、子供が使用する製品に含まれる鉛(Pb)含量を制限する*消費材安全性改善法*が施行されています。SMART Technologiesは、このイニシアチブへの準拠に尽力しています。

付録 C
カスタマサポート

オンライン情報およびサポート

www.smarttech.com/supportをご覧の上、ユーザーズマニュアル、ハウツーやトラブルシューティング関連の記述、ソフトウェアなどをダウンロードしてください。

トレーニング

トレーニング資料およびトレーニングサービスに関する情報については、www.smarttech.com/trainingcenterをご参照ください。

技術サポート

SMART製品に問題があると感じた場合には、SMARTサポートへご連絡いただく前に、まず販売代理店にお問合せください。代理店では、顧客情報に精通しており、問題解決をより迅速に勧めることができます。

注記

最寄の認定代理店については、www.smarttech.com/wheretobuyをご参照ください。

すべてのSMART製品では、オンライン、ファックス、および電子メールによるサポートをご利用いただけます。

オンライン	www.smarttech.com/contactsupport
電話	+1.403.228.5940または フリーダイアル1.866.518.6791 (米国/カナダ内のみ) (月曜日～金曜日の午前5時～午後6時カナダ山地標準時) – 6 p.m. Mountain Time)
ファックス	+1.403.806.1256
電子メール	support@smarttech.com

配送および修理状況

輸送中の損傷、紛失部品、修理状況などについては、SMARTの商品返品許可 (RMA)グループ、オプション4、+1.866.518.6791にお問合せください。

一般的な質問

住所	SMART Technologies 3636 Research Road NW Calgary, AB T2L 1Y1 CANADA
Switchboard	+1.403.228.5940または フリーダイヤル 1.866.518.6791 (米国/カナダのみ)
ファックス	+1.403.228.2500
電子メール	info@smarttech.com

保証

製品保証は、購入時のSMART製品に同梱されているSMARTの「制限付き保証」の条項に準拠するものとします。

オンライン登録

お客様に対するサービス向上のために、www.smarttech.com/registrationでオンライン登録を行ってください。